

島根大学

保健管理センター一年報

[2024年度]

島根大学保健管理センター

目 次

活 動

【松江保健管理センター】

| | |
|-----------------------------|----|
| I : 学術研究活動 | 1 |
| 1. 学会・研究会参加 | |
| 2. 学会・研究会発表 | |
| 3. 著書 | |
| 4. 学術論文 | |
| 5. 報告書 | |
| 6. 学術雑誌査読 | |
| 7. 研究助成 | |
| 8. その他 | |
| II : 教育活動 | 5 |
| III : 社会貢献・講演 | 6 |
| IV : 事業・業務 | 8 |
| V : 保健管理部門 | 10 |
| 1. 学生健康診断 | 10 |
| (1) 定期健康診断・事後措置 | |
| (2) 特別健康診断（放射性同位元素 RI 等取扱者） | |
| (3) 特殊健康診断（特化物質・有機溶剤等使用者対象） | |
| (4) 臨時健康診断（体育系部活・サークルの健康診断） | |
| 2. 松江保健管理センター利用状況 | 13 |
| (1) 学生・職員等の健康相談等 | |
| (2) 禁煙相談・支援窓口、禁煙外来 | |
| (3) 留学生対応 | |
| (4) 健康セミナー | |
| (5) ヘルシーキャンパス活動 | |
| (6) HPVワクチン | |
| VI : 学生相談部門 | 16 |
| 1. 学生定期健康診断時のカウンセラー面接 | |
| 2. 学生相談室利用状況 | |
| 3. 支援活動報告 | |
| VII : 教職員の健康管理 | 18 |
| 1. 教職員センター利用件数 | |
| 2. 一般定期健康診断事後措置 | |

| | |
|---------------------------------|----|
| 3. 特殊健康診断（特化物質・有機溶剤等使用者対象）事後措置 | |
| 4. 高ストレス者面談 | |
| 5. 復職支援 | |
| 6. 学外メンタルヘルス相談 | |
| 7. 令和6年度中国・四国地区国立大学法人等労働安全衛生協議会 | |
| VIII：広報・教育活動 | 20 |
| 1. 全学研修会 | 20 |
| (1) ジェンダーに関する講演会 | |
| (2) 飲酒に関する講演会 | |
| 2. 教職員対象の研修会 | 20 |
| (1) 新任教員・新採用職員研修 | |
| (2) 大学入試試験における感染症対策研修 | |
| (3) eラーニングの実施 | |
| 3. 学生対象の研修会 | 20 |
| (1) 新入生対象オリエンテーション | |
| (2) 入学時オリエンテーション「健康な学生生活を送るために」 | |
| (3) 「薬物乱用の注意」「カルトへの注意」 | |
| 4. 松江保健管理センターホームページ | 20 |
| IX：その他の活動 | 21 |
| 1. 学内機関との連携 | 21 |
| (1) 障がい学生支援室 | |
| (2) 国際課 | |
| 2. 学外機関との連携 | 21 |
| (1) 島根県東部発達障がい者支援センター「ウイッシュ」 | |
| (2) 若者サポートステーション（さぽステ） | |
| (3) しまね性暴力被害者支援センターさひめ | |

【出雲保健管理センター】

| | |
|-----------------------------------|----|
| I : 学術研究活動 | 22 |
| 1. 学会・研究会参加 | |
| 2. 学会・研究会発表 | |
| 3. 学術論文 | |
| 4. 研究助成 | |
| II : 教育活動 | 24 |
| III : 社会貢献・講演 | 25 |
| IV : 事業・業務 | 26 |
| V : 保健管理部門 | 28 |
| 1. 学生定期健康診断 | 28 |
| (1) 健康診断項目 | |
| (2) 健康診断受診率 | |
| (3) 健康診断結果の有所見者の人数及び事後措置 | |
| 2. 出雲保健管理センターの利用状況 | |
| 3. 医学部生の感染症対策 | |
| (1) 小児4種感染症及びB型肝炎の抗体等に関する検査及び予防接種 | |
| (2) インフルエンザワクチン接種 | |
| (3) 新型コロナウイルス感染症への対応 | |
| VI : 学生相談部門 | 38 |
| 1. 学生相談室利用状況 | |
| 2. 入学時健康調査票 | |
| 3. 学生相談懇談会 | |
| 4. 学務課との連携 | |
| 5. 島根学生相談研究会 | |
| VII : 産業保健部門 | 40 |
| 1. 教職員の保健管理 | |
| 2. 教職員への心理支援 | |
| 3. 産業医の業務 | |

資料

| | |
|-----------------|----|
| I : 目標と計画 | 43 |
| II : 保健管理体制 | 45 |
| 1. 組織 | |
| 2. 構成 | |
| 3. 管理運営委員会委員 | |
| 4. 松江保健管理センター規程 | |
| 5. 出雲保健管理センター規程 | |
| 6. 学生相談室規程 | |
| 7. 医学部学生相談室規程 | |
| III : 沿革 | 56 |

活 動

【松江保健管理センター】

I : 学術研究活動

1 . 学会・研究会参加

2024年

| | | |
|-----|---|---------------------|
| 4月 | 第76回日本産科婦人科学会学術講演会（岡山市） | 河野美江 |
| 5月 | 日本法歯科医学会第18回学術大会（大阪市） | 河野美江 |
| | 第61回小児外科学会学術集会（福岡市） | 河野美江 |
| | 第97回日本産業衛生学会（広島市） | 長廻久美子 |
| | American College Health Association (ACHA)2024（Atlanta） | 杉原志伸 |
| 6月 | 島根県産業看護部会第87回研修会研修会・交流会（松江市） | 長廻久美子 |
| | 島根県看護協会保健師職能交流集会（出雲市） | 長廻久美子 |
| 7月 | 第37回日本小児救急医学会学術集会（東京都） | 河野美江 |
| 8月 | 第54回中国四国大学保健管理研究集会（鳥取市） | 河野美江、杉原志伸、 小林紗世 |
| | 第43回学生相談研究会（出雲市） | 河野美江、杉原志伸、 猪口かおり |
| 9月 | 第15回禁煙支援研修会（松江市） | 長廻久美子 |
| | 第72回日本心臓病学会学術集会（仙台市） | 杉原志伸 |
| | 第52回山陰断酒学校（松江市） | 杉原志伸 |
| 10月 | 第62回全国大学保健管理研究集会（神戸市） | 河野美江、杉原志伸 小林紗世 |
| | 第83回日本公衆衛生学会総会（札幌市） | 河野美江、杉原志伸 |
| | 島根県産業看護部会 第88回研修会・交流会（出雲市） | 長廻久美子 |
| | 糖尿病の治療と仕事の両立支援 事例検討会（オンライン） | 長廻久美子 |
| | 令和6年度中国・四国国立大学法人労働安全衛生協議会（松江市） | 杉原志伸、長廻久美子 |
| | 第37回日本箱庭療法学会（米子市） | 猪口かおり、高橋朋子 |
| 11月 | 2024年度全国助産師教育協議会 中国・四国地区研修会（オンライン） | 河野美江 |
| | 第13回日本産業看護学会学術集会、第21回日本ヘルスプロモーション学会学術大会（東京都） | 長廻久美子 |
| | 日本心臓リハビリテーション学会第10回中国支部地方会（倉敷市） | 杉原志伸 |
| | 日本電話相談学会（オンライン） | 執行三佳 |
| 12月 | 第45回全国大学メンタルヘルス学会総会（秋田市） | 河野美江 |
| | 令和6年度島根産科婦人科学会学術集会（出雲市） | 河野美江 |

2025年

| | | |
|----|------------------------|---------------------------------------|
| 1月 | 第58回全国学生相談研究会議（広島市） | 河野美江、猪口かおり |
| 2月 | 第47回中国四国学生相談研究会（松江市） | 河野美江、猪口かおり、 執行三佳、高橋朋子 杉原志伸、小林紗世 |
| | 島根県産業看護部会 第89回研修会（松江市） | 長廻久美子 |
| | 第58回日本痛風・尿酸核酸学会（東京都） | 杉原志伸 |
| 3月 | 第89回日本循環器学会学術集会（横浜市） | 杉原志伸 |

2. 学会・研究会発表

2023年

- 4月 「わが国におけるDV・性暴力被害者に対する医療的支援に関する全国調査」河野 美江, 渥美 治世, 種部 恭子, 安達 知子, 京 哲. 第76回日本産科婦人科学会学術講演会
「子ども・男性・性的マイノリティの性暴力被害者への医療機関における支援に関するアンケート調査」原詩織, 河野美江, 和田耕一郎, 岩下義明, 京哲, 尾花和子, 渥美治世, 竹谷健. 第127回日本小児科学会学術集会
「National survey on medical support for victims of domestic violence and sexual violence in Japan」Koichiro Wada, Shin Imai, Hiroshi Yamada, Ken Taketani, Yoshiaki Iwashita, Satoshi Kyo, Haruyo Atsumi, Kazuko. Obana, Tomoko Adachi, Kyoko Tanebe, Yoshie Kono. 第111回日本泌尿器科学会学術集会
「Effectiveness of an Online Comprehensive Exercise Program for Underweight Female University Students in Japan」Shinobu Sugihara. ACHA2024
- 5月 「性暴力被害者に対する医療的支援」河野美江. 日本法歯科医学会第18回学術大会
「子ども・男性・性的マイノリティの性暴力被害者の医療支援に関する医師アンケート結果」尾花和子, 河野美江, 山田浩史, 竹谷健, 岩下義明, 京 哲, 和田耕一郎, 渥美治世, 安達知子, 種部恭子, 今井 伸. 第61回小児外科学会学術集会
「子どもの性暴力被害者に対する医療支援の現状」河野美江, 尾花和子, 山田浩史, 和田耕一郎, 岩下義明, 京 哲, 竹谷健, 渥美治世. 第61回小児外科学会学術集会
- 7月 「子どもの性暴力被害者に対する医療マニュアルの作成」河野美江, 尾花和子, 竹谷健. 第37回日本小児救急医学会学術集会
「子どもの性暴力被害者に関わった医師への実態調査」竹谷健, 尾花和子, 河野美江. 第37回日本小児救急医学会学術集会
「子ども・男性・性的マイノリティの性暴力被害者への医療支援に関する医師アンケート調査結果」尾花和子, 河野美江, 和田耕一郎, 山田浩史, 岩下義明, 京 哲, 竹谷健, 渥美治世. 第37回日本小児救急医学会学術集会
- 8月 「子ども、男性、性的マイノリティを含めた性暴力被害者の医療支援の実態と医学教育の展望」渥美治世, 岩下義明, 和田耕一郎, 竹谷健, 京 哲, 今井伸, 山田浩史, 尾花和子, 大草亘孝, 安達知子, 種部恭子, 河野美江. 第56回医学教育学会大会
「島根大学における性暴力への対応」河野美江, 猪口かおり, 執行三佳, 高橋朋子, 小林亮輔, 長廻久美子, 小林沙世, 杉原志伸. 第54回中国四国大学保健管理研究集会
「教職員対象健康イベント開催報告」小林沙世, 杉原志伸, 長廻久美子, 猪口かおり, 河野美江, 原丈貴, 辻本健彦, 多久和徹, 上野和将, 木村千寿子. 第54回中国四国大学保健管理研究集会
「大学生を対象とした「便活」開始について」日山亨, 杉原志伸, 山本直樹, 宮内俊介, 石内直樹, 岡本百合. 第54回中国四国大学保健管理研究集会
- 9月 「地域連動型支援プログラムの開発研究 高齢者心不全入院患者の「生きがい」との関連因子の検討」杉原志伸, 城田欣也. 第72回日本心臓病学会学術集会
「大学生を対象とした身体活動実践による利益の認知に関する検討」伊達山翔, 多田祐紀, 杉原志伸, 辻本健彦. 第78回日本体力医学会大会
- 10月 「島根大学松江キャンパスにけるHPVワクチンに関するアンケート調査結果」河野美江, 猪口かおり, 長廻久美子, 小林沙世, 杉原志伸. 第62回全国大学保健管理研究集会
「女子アスリートにおけるアスリートの三主徴の実態調査、および下腿最大周囲径との関連」杉原志伸, 石倉陽子, 河野美江. 第62回全国大学保健管理研究集会
「月経前症候群（PMS）と月経前不快気分障害（PMDD）に関する相談の実態」布施泰子, 河野美江. 第62回

全国大学保健管理研究集会

「専門職スタッフの月経前症候群（PMS）と月経前不快気分障害（PMDD）の認知度」布施泰子, 河野美江.
第62回全国大学保健管理研究集会

「子ども、男性、性的マイノリティの性暴力被害者に対する医療支援調査結果」河野美江, 武田美輪子, 大草亘孝. 第83回日本公衆衛生学会総会

「Characteristics of Underweight Male University Students Compared to Females」Shinobu Sugihara. 第83回日本公衆衛生学会総会

11月 「現代の若年層における性暴力の現状と大学生への支援」河野美江. 2024年度全国助産師教育協議会 中国・四国地区研修会

「心不全患者における自覚的味覚障害とうつの関連」須山朋子, 杉原志伸, 須山竜二, 城田欣也. 日本心臓リハビリテーション学会第10回中国支部地方会

12月 「大学における性暴力被害学生支援マニュアル」の紹介～被害学生、加害学生ともに学内者の場合～」河野美江, 猪口かおり, 執行三佳, 大草亘孝, 布施泰子, 折橋洋介, 岡本百合, 清水幸登. 第46回全国大学メンタルヘルス学会

2025年

1月 「学生の危機において学生相談は何かできるか～性暴力被害：特に被害学生、加害学生ともに学内者の場合～」河野美江, 猪口かおり, 執行三佳. 第58回全国学生相談研究会議

3月 「心不全患者における酸素摂取効率勾配（OUES）は予後予測能において嫌気性代謝閾値（AT）より優れるか」須山竜二, 加藤雅彦, 杉原志伸, 須山朋子, 城田欣也. 第89回日本循環器学会学術集会

「心不全患者の大腿直筋厚はSPPBで評価された身体機能の低下を予測する」須山朋子, 杉原志伸, 須山竜二, 城田欣也. 第89回日本循環器学会学術集会

3. 著書

- ・河野美江, 和田耕一郎, 岩下義明, 京 哲, 大草亘孝, 尾花和子, 竹谷健, 渥美治世, 種部恭子, 安達知子, 今井伸, 山田浩史, 溝口史剛. 性暴力被害を受けた子どもと大人の医療対応マニュアル. SORA Design Office. 2025
- ・日山亨, 杉原志伸. 病院安全教育, みんなに伝えたい! 医療安全伝川柳. 日総研, 2024. 8, 2024, 12
- ・日山亨, 杉原志伸. 病院安全教育, ちょっと気になる医療訴訟・研修会をアトラクティブにするヒント. 日総研, 2024. 10, 2025. 2

4. 学術論文

- ・Yasuko Fuse-Nagase, Yoshie Kono. Understanding of premenstrual dysphoric disorder and premenstrual syndrome among professionals in Japanese university health services: A survey with simulated cases. Asian Journal of Psychiatry. 2024 ; 102;104275
- ・Yoshie Kono, Haruyo Atsumi, Kyoko Tanebe, Tomoko Adachi, Satoru Kyo. Current medical support for victims of domestic violence and sexual assault: A nationwide survey among obstetricians and gynecologists in Japan. The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 2025;51:3
- ・杉原 志伸, 山本 康孝, 寺本 圭, 浜田 紀宏, 宮崎 聡, 荻野 和秀, 桑原 政成, 太田原 顕, 水田 栄之助, 市田 公美, 加藤 雅彦, 山本 一博, 久留 一郎. 腎性低尿酸血症者における腎機能の経時的変化, 痛風と尿酸・核酸 2024;48:161
- ・宮崎 聡, 浜田 紀宏, 桑原 政成, 杉原 志伸, 水田 栄之助, 太田原 顕, 荻野 和秀, 市田 公美, 山本 一博, 久留 一郎, 富田 桂公. 入院患者における低尿酸血症の予測因子 単施設における後方視的研究. 痛風と尿酸・核酸 2024;48:189
- ・Shinobu Sugihara, Yasutaka Yamamoto, Kei Teramoto, Toshiro Hamada, Satoshi Miyazaki, Kazuhide Ogino, Masanari Kuwabara, Akira Ohtahara, Einosuke Mizuta, Kimiyoshi Ichida, Yusuke Endo, Hiroyuki

Minato, Haruaki Ninomiya, Masahiko Kato, Kazuhiro Yamamoto, Ichiro Hisatome. Annual change in eGFR in renal hypouricemia: a retrospective pilot study. Clinical and experimental nephrology, 2024;10 DOI:10.1007/s10157-024-02558-8.

- ・ Shinobu SUGIHARA, Mizuho YASUHARA, Ryuji SUYAMA, Tomoko SUYAMA, Kinya SHIROTA. Malnutrition is Associated With Cognitive Impairment in Patients With Repeated Hospitalization for Acute Heart Failure. 2024; 41:29-40.

5. 報告書

- ・ 河野美江, 猪口かおり, 小林沙世, 長廻久美子, 執行三佳, 小林亮輔, 高橋朋子, 杉原志伸. 「大学における性暴力への対応」第54回中国四国保健管理研究集会報告書、71-73、2025
- ・ 河野美江, 猪口かおり, 執行三佳, 大草亘孝, 布施泰子, 折橋洋介, 岡本百合, 清水幸登. 「大学における性暴力被害者支援モデルの確立」研究班活動報告. 大学のメンタルヘルス8、63-65、2024
- ・ 杉原志伸, 小林沙世, 長廻久美子, 猪口かおり, 河野美江. 「女性アスリートにおけるアスリートの三主徴の実態調査、及び下腿最大周囲径との関連」全国大学保健管理研究集会報告書, 2024, 10

6. 学術雑誌査読

河野美江 CAMPUS HEALTH 61 (2)

7. 研究助成

- 河野美江 令和4年度～令和6年度 こども家庭科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業））
「DV・性暴力被害者の医療と連携した支援体制の構築のための研究」
（課題番号22SA1001、研究代表者 河野美江）
- 河野美江 令和5年度～令和7年度 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（C）
「大学生の月経前症候群と月経前不快気分障害の潜在的有病率・知識・意識に関する研究」
（課題番号23K095701B 研究代表者 茨城大学 布施泰子）
- 杉原志伸 令和5年度～令和7年度 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（C）
「例年女性の低体重者に対する体格の適正化を狙いとした包括的運動プログラムの構築」
（課題番号22K11776、研究代表者 杉原志伸）
- 杉原志伸 2024年度島根大学女性研究リーダー育成事業（共同研究型）
若年女性アスリートにおけるアスリート三主徴（FAT）に関する競技別の特徴と指導方法の検討
研究代表者 杉原志伸

8. その他

- ・ マスコミ
河野美江 2024. 4. 30 増加する若者の性暴力被害 対策は？
- ・ 共同プロジェクト
杉原志伸 2024年から広島大学日山亨先生の「便活プロジェクト」の協力者として動画作成、便活HPで掲載
- ・ 共同研究
杉原志伸 2023年から古野電気株式会社と「日本人の若年女性アスリートにおけるアスリート三主徴（FAT）の実態調査及び下肢最大周囲径との関連」の共同研究を締結

II : 教育活動

河野美江

- 健康・スポーツ科学概論（基礎教育）
- ジェンダー（共通教養）
- 病態治療学（専門教育）
- 個を大切にするための心理学（専門教育）

杉原志伸

- 健康・スポーツ科学概論（基礎教育）
- 酒一杯の酒から覗く学問の世界（基礎教育）
- 病態治療学（専門教育）
- 地域包括ケア概論（専門教育）
- 健康科学概論（医学部専門教育）
- 運動における安全管理（専門教育）

猪口かおり

- CS基礎（基礎教育）

Ⅲ：社会貢献・講演

河野美江

内閣府「実証的政策立案のための性暴力被害の把握の在り方に関する調査研究事業」検討会委員長全国
大学メンタルヘルス学会理事
全国大学保健管理協会評議員
全国大学保健管理施設協議会メンタルヘルス委員会委員
島根県男女共同参画審議会委員
島根県母性衛生学会理事
島根県健康相談アドバイザー
島根県スポーツ協会専門委員会委員
松江市医師会学校保健部委員
一般社団法人しまね性暴力被害者支援センター理事・事務局長

○講演

2024.11 「子どもを守るために知っておきたい性のこと～身近にあるハラスメント」
まつえおやこ劇場

2024.12 「学校健康診断におけるLGBTQ+への配慮」
松江市医師会学校医会

2025.1 「学校における性暴力への対応～被害者支援から予防まで～」
島根県専修学校各種学校連盟人権研修会

○その他

中学校3校、高校等2、教員等専門職1回、NPO等6回

杉原志伸

日本内科学会 中国支部評議員
日本循環器学会 中国支部評議員
日本循環器学会 禁煙推進部会委員
日本心不全学会 代議員
日本心臓病学会 心臓病上級臨床医 (FJCC)
国立大学保健管理施設協議会 国際交流推進特別委員会委員
大学における健康診断・健康関連情報の標準化と利活用に関わる調査委員会委員
松江市たばこ対策推進会議委員長
松江市自死対策事業検討委員
松江工業高等専門学校倫理委員会委員
日本痛風・尿酸核酸学会 ダイバーシティ推進委員

○講演等

2024.6 「大学生等の若年者の喫煙状況と対策について」
松江市医師会 禁煙支援担当医と心療内科・精神科担当者の連携のための勉強会
2024.10 ～ストップ! No卒中～ ねんりんピック2024

○その他

一次救命講習 (PUSH講習会) 企業3回

小林亮輔

島根リハビリテーション学院「心理学」講義
島根県立宍道高等学校「カウンセリング心理学」講義
島根県警察本部少年女性対策課スーパーアドバイザー

松江市個別地域ケア会議アドバイザー
安来市個別地域ケア会議アドバイザー
雲南市いじめ問題対策委員

○講演

2024.8「スクールカウンセラーとして考える子ども・若者と支援者」出雲市子ども若者支援協議会
2024.9「子どものキモチと子育てのキモチ」白潟保育所保護者研修会
2024.11「コミュニケーションと心理的安全性」県庁地区メンタルヘルス研修
2024.11「イライラとの付き合い方」教育庁・教育センターメンタルヘルス研修
2025.2「愛情って何かね？」子ども若者支援・青少年育成・児童虐待防止講演会

執行三佳

島根いのちの電話 講師

2024.3「プロブレムトーキングとソリューショントーキング」島根県社会福祉協議会OJTリーダー研修

島根リハビリテーション学院「臨床心理学」講義

島根県立松江高等看護学院「人間関係論」講義

IV : 事業・業務

| 月 | 事業・業務 |
|-----|--|
| 4月 | <ul style="list-style-type: none"> ・入学時定期健康診断（新入生） ・入学式救護 【4月】定期健康診断（在学生・留学生） 【4～7月】定期健康診断事後指導・措置（新入生・在学生・留学生） |
| 5月 | <ul style="list-style-type: none"> ・特別健康診断（RI取扱者 学生・職員） |
| 6月 | |
| 7月 | |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ・第54回中国四国大学保健管理研究集会（鳥取市） ・特殊健康診断 ・オープンキャンパス救護 |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none"> ・学生健康チェック |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ・第62回全国大学保健管理研究集会（神戸市） ・保健管理センターパンフレット発行 ・秋入学留学生健診 【10～11月】学部との学生相談連携会議 |
| 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・特別健康診断（RI取扱者 学生・職員） ・推薦入学試験救護 ・生物資源科学部保護者会 |
| 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ・公開授業「酒と健康」島根県断酒新生会会員、家族 ・公開授業「多様な性と生」佐藤みどり氏 |
| 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テスト救護 |
| 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ・個別学力試験（前期日程）救護 ・特殊健康診断 |
| 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ・個別学力試験（後期日程）救護 |

【年間を通じての業務】

- 日常の健康相談（身体及びこころの健康相談）
- 医師診察
- 医療機関への紹介
- 禁煙外来
- 応急処置・往診
- 入試等救護
- 意見書・診断書作成
- 健康診断証明書発行
- 薬剤定期点検
- 休養室、車いす、救急カバンの貸し出し
- 検査機器の使用、管理（身長体重計、血圧計、体組成計、視力測定器）
- ホームページ作成

【定期会議】

- 松江保健管理センターミーティング（センター・学生支援課）：1回/月
- 保健管理センターミーティング（松江・出雲保健管理センター）：1回/月
- 学生支援委員会：1回/月 河野、杉原が委員として参加

- 障がい学生支援室ミーティング：1回/月
- 国際課ミーティング：1回/年
- 保健管理センター管理運営委員会：3回/年
第1回会議 2024年6月 4日 第2回会議 2024年9月26日 第2回会議 2025年2月12日
- 学部連絡会議（FD研修）：各学部1回/年

V : 保 健 管 理 部 門

1. 学生健康診断

(1) 定期健康診断・事後措置

健康診断項目

| 項目 | 学年等 | 学 部 | | 大 学 院 | | 留学生 |
|-------|-----|-----|-------------|-------|-------------|-----|
| | | 1年 | 2年以上 | 1年 | 2年以上 | |
| 計 測 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 血 圧 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 内 科 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 胸部X線 | | ○ | 該当者・ 希望者 | ○ | 該当者・ 希望者 | ○ |
| 尿 検 査 | | ○ | — | ○ | — | — |
| WEB問診 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

定期健康診断受診率

学部

| | | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 5年生以上 |
|---------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 法文学部 | 対象者数 | 179 | 183 | 189 | 201 | 54 |
| | 受診者数 | 177 | 91 | 84 | 114 | 10 |
| | 受診率(%) | 98.9 | 49.7 | 44.4 | 56.7 | 18.5 |
| 教育学部 | 対象者数 | 136 | 140 | 140 | 135 | 27 |
| | 受診者数 | 136 | 136 | 134 | 100 | 10 |
| | 受診率(%) | 100 | 97.1 | 95.7 | 74.1 | 37.0 |
| 人間科学部 | 対象者数 | 84 | 82 | 80 | 85 | 16 |
| | 受診者数 | 83 | 61 | 67 | 66 | 2 |
| | 受診率(%) | 98.8 | 74.4 | 83.8 | 77.6 | 12.5 |
| 総合理工学部 | 対象者数 | 377 | 371 | 424 | 420 | 92 |
| | 受診者数 | 373 | 190 | 149 | 197 | 15 |
| | 受診率(%) | 98.9 | 51.2 | 35.1 | 46.9 | 16.3 |
| 材料工学部 | 対象者数 | 83 | 86 | — | — | — |
| | 受診者数 | 83 | 43 | — | — | — |
| | 受診率(%) | 100 | 50.0 | — | — | — |
| 生物資源科学部 | 対象者数 | 208 | 204 | 215 | 218 | 45 |
| | 受診者数 | 208 | 117 | 88 | 120 | 10 |
| | 受診率(%) | 100 | 57.4 | 40.9 | 55.0 | 22.2 |
| 計 | 対象者数 | 1,067 | 1,066 | 1,048 | 1,059 | 234 |
| | 受診者数 | 1,060 | 638 | 522 | 597 | 47 |
| | 受診率(%) | 99.3 | 59.8 | 49.8 | 56.4 | 20.1 |

連合大学院農学研究科：10名

研究生、科目等履修生：70名

大学院

| | 1年生 | 2年生 | 3年生 |
|--------|------|------|------|
| 対象者数 | 272 | 243 | 38 |
| 受診者数 | 226 | 129 | 10 |
| 受診率(%) | 83.1 | 53.1 | 26.3 |

事後措置

○結核検診（胸部X線撮影）

第一学年（入学年度）と実習のある学生、留学生を対象として健康診断時の胸部X線検査を実施している。ただし、結核問診の有所見者および医師が必要と判断した場合は対象に加えた。胸部X線有所見者には専門医療機関を紹介している。

| | | |
|----------|------|-------|
| 受検者数 | | 2,503 |
| 要精密検査者数 | | 6 |
| 精密検査受験者数 | | 6 |
| 精密検査結果 | 異常なし | 3 |
| | 要観察 | 1 |
| | 要治療 | 2 |

○血圧

健診当日、自動血圧計で2回測定し、どちらも高値（収縮期血圧140 mmHg and/or 拡張期血圧 90 mmHg）を示した学生は、後日二次検診を行っている。二次健診でも血圧高値であった対象者を高血圧者とした。

二次検診の対象となった血圧高値者

| | 男子 | 女子 |
|-------------|----------|---------|
| 対象者数 | 152 | 28 |
| 受検者数 | 121 | 24 |
| 高血圧数(%対受検者) | 63(52.1) | 8(33.3) |

○尿検査

学部・大学院新入生全員を対象に尿検査を施行している。有所見(陽性)者には、精密検査受診を勧奨し、医療機関を紹介している。

・新入生（学部）

| | 受検者 | 要精密検査者 | | | 精密検査受診者 |
|---|-----|--------|---|----|---------|
| | | 蛋白 | 糖 | 潜血 | |
| 男 | 560 | 2 | 1 | 4 | 3 |
| 女 | 385 | 1 | 2 | 8 | 2 |

・新入生（大学院）

| | 受検者 | 要精密検査者 | | | 精密検査受診者 |
|---|-----|--------|---|----|---------|
| | | 蛋白 | 糖 | 潜血 | |
| 男 | 91 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 女 | 46 | 0 | 0 | 1 | 1 |

(2) 特別健康診断(放射性同位元素RI等取扱者)

島根大学職員安全衛生管理規程第23条及び、島根大学総合科学研究支援センター遺伝子機能解析分野RI実験施設放射線障害予防規則第18条の規定により、放射線業務従事者の健診を年2回実施している。

1. 対象者：放射線・RI取扱学生、教職員
2. 検査項目：① 全身の自覚症状に関する問診
② 皮膚・眼球・爪の性状などの視診
③ 一般血液検査（松江赤十字病院）

| | | 5月 | 11月 |
|-------|----|----|-----|
| 新規登録者 | 学生 | 15 | 3 |
| | 職員 | 4 | 1 |
| 既登録者 | 学生 | 27 | 0 |
| | 職員 | 41 | 43 |
| 計 | | 87 | 47 |

(3) 特殊健康診断(特化物質・有機溶剤等使用者対象)

健康障害の予防及び健康障害の早期発見を目的として教員に追加して学生に対しても特殊健康診断を8月～9月に実施している。但し、未受診者は2月の健診受診を勧奨している。

検査項目別受診者数(件数)

| 学 部 | 有機溶剤 | 特定化学物質 | 特定業務 | 合計 |
|---------|------|--------|------|-----|
| 教育学部 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 総合理工学部 | 33 | 22 | 5 | 60 |
| 生物資源科学部 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 自然科学研究科 | 54 | 34 | 10 | 98 |
| 合計 | 88 | 56 | 17 | 161 |

(4) 臨時健康診断(体育系部活・サークルの健康診断)

大学を代表して対外試合に出場するスポーツ選手や、強化合宿、体育実技、各クラブ活動の合宿などに対応して臨時健康診断を実施している。

検査項目：内科診察、血圧測定、身長・体重測定

| | 受診者数 |
|------|------|
| 各種大会 | 7 |
| 計 | 7 |

2. 保健管理センター利用状況

(1) 学生・職員等の健康相談等

保健管理センター利用内訳（延べ数）

| | | 学生 | 留学生 | 職員 | 家族 その他 | 合計 |
|---------------------|--------------|-------|-----|-------|-----------|---------|
| 計測 | | 510 | 38 | 13 | 31 | 592 |
| 診察・健康相談 | 内科系 | 215 | 9 | 5 | 4 | 233 |
| | 外科系 | 4 | 2 | 2 | 0 | 8 |
| | 禁煙外来 | 20 | 0 | 0 | 0 | 20 |
| | ミニレクチャー | 34 | 0 | 2 | 0 | 36 |
| | 健診事後措置 | 291 | 8 | 3 | 0 | 302 |
| | 保健指導 | 1,645 | 130 | 135 | 50 | 1,960 |
| | 連携・会議 | 30 | 1 | 384 | 99 | 514 |
| | その他 | 8 | 1 | 0 | 0 | 9 |
| 精神保健 | | 460 | 21 | 46 | 32 | 559 |
| 産業保健 | | 0 | 0 | 575 | 0 | 575 |
| 処置 | 投薬 | 264 | 4 | 12 | 2 | 282 |
| | 外傷処置 | 74 | 7 | 17 | 1 | 99 |
| | 休養室・リラックス室利用 | 116 | 2 | 22 | 12 | 152 |
| 専門医紹介 | | 240 | 40 | 25 | 4 | 309 |
| 往診 | | 28 | 0 | 2 | 9 | 39 |
| 救急車搬送 | | 6 | 0 | 1 | 0 | 7 |
| 健康診断証明書(個別対応)・紹介状発行 | | 99 | 10 | 1 | 0 | 110 |
| 健康診断証明書 | | | | | | (2,261) |
| 合計 | | 4,044 | 273 | 1,245 | 244 | 5,806 |

※（ ）内数字は合計に含まず

- ・学生は学部・大学院・研究生等で，その他は卒業生・家族等である。
- ・定期健康診断受検者数は含まない

精神保健相談件数（延べ数）

| | | 延べ数合計 |
|--------|------------|-------|
| 学部 | 法文学部 | 76 |
| | 教育学部 | 39 |
| | 総合理工学部 | 157 |
| | 生物資源科学部 | 90 |
| | 人間科学部 | 47 |
| | 材料エネルギー学部 | 8 |
| | 小計 | 417 |
| 大学院 | 教育学研究科 | 2 |
| | 自然科学研究科 | 32 |
| | 総合理工学研究科 | 0 |
| | 人間社会学研究科 | 8 |
| | 連合大学院農学研究科 | 0 |
| | 研究科不明 | 1 |
| | 小計 | 43 |
| 留学生 | 21 | |
| 職員 | 46 | |
| 家族・その他 | 32 | |
| 合計 | 559 | |

(2) 禁煙相談・支援窓口、禁煙外来

保健管理センターでは無料の保健師による禁煙相談、医師による禁煙外来・禁煙補助薬処方（ニコチンパッチ、[®]ニコチネル TTS）を行っている。学生健康診断を利用して喫煙学生への呼びかけと周知を行い、利用者は教職員・学生合わせて3名（延べ20回）の支援を実施した。また、禁煙成功者の体験談を松江保健管理センターHPに掲載し、周知を行っている。

(3) 留学生対応

留学生に対して、健康診断問診表の英語版の作成、英語での診察、他医療機関受診時の通訳案内を実施している。また、留学生の緊急対応やサマースクール等では国際課と連携し対応にあたっている。2024年度は年間延べ151件の留学生対応を行った。

(4) 健康セミナー

学生対象に5月15日「管理栄養士による大学生の食ナビ」、5月29日「DORINK SMART～お酒との正しい付き合い方～」7月10日「熱中症対策セミナー」を実施し多数の学生の参加があった。

また、一次救命講習会（PUSH講習会）も2回、11名の学生に実施した。

(5) ヘルシーキャンパス活動

- 健康イベント：近年、島根大学教職員対象のストレスチェックでは約1割が高ストレス者と判定されていることから、教職員が対面で軽い運動をしながら、コミュニケーションを取れる場として、松江キャンパスでは令和5年度より健康イベントを実施している。松江保健管理センターも健康イベントチームの実施者として参加しており、2024年度（令和6年度）は7回のイベントを実施し、合計89名の参加があった。

| 令和6年度 | 実施日 | テーマ | 講師等 | 参加者 |
|-------|------------|--------|----------|-------|
| 1 | 6月27日 | ボッチャ | 学部教員 | 10名 |
| 2 | 7月23日 | 護身術 | セコム山陰講師 | 19名 |
| 3 | 8月29日 | ストレッチ | 大学院生 | 16名 |
| 4 | 9月24日 | 太極拳 | 留学生 | 6名 |
| 5 | 10月21, 22日 | 健康チェック | 保健管理センター | 28名 |
| 6 | 11月19日 | ウォーキング | 保健管理センター | 6名 |
| 7 | 1月21日 | 卓球 | 大学教員 | 4名 |
| | | | | 合計89名 |

- ウォーキングチャレンジ：全国保健管理協会と共催で毎年11月に実施している「ウォーキングチャレンジ」も引き続き実施した。学生・教職員の90名の参加者があり、大学 FB やツイッター、学内掲示板、保健管理センターHP 上で情報発信を行った。



【学生・教職員対象】ウォーキング チャレンジ2024の表彰式を行いました！

皆様、ご参加ありがとうございました！
楽しんで参加して頂いたようで、お話を伺ってこちらまで嬉しくなりました！
今後ぜひウォーキングを続けてください！
次年度も同様の企画を実施する予定です。



- ヨガ交流会：松江保健管理センター及びダイバーシティ推進室の共催で月1回程度ヨガ交流会を実施し、HPで周知を行っている。

(6) HPVワクチン

国のHPVワクチンのキャッチアップ接種事業に合わせて、島根大学では希望する女子学生を対象にワクチン接種を実施した。出雲キャンパスで、2024年9月・10月に1回目、同年11月に2回目、2025年2月に3回目の接種を行った。松江キャンパスからは、1回目22名、2回目10名、3回目11名の学生が参加し、保健管理センターのスタッフがバスで出雲キャンパスまで同行した。

また、学内ホームページ上でHPVワクチンに関する情報提供も併せて行った。



【学生対象】HPVワクチンキャッチアップ接種のタイムリミットが迫っています

VI : 学生相談部門

1. 学生定期健康診断時のカウンセラー面接

新入生を対象とする健康診断時に、医師による問診や事前スクリーニングにおいてメンタルヘルス不調と判断された学生に対し、会場に待機するカウンセラーが短時間の面接を行っている。

新入生健診時のカウンセラー面接実施者数

| | 所属 | (人) |
|-----|---------|-----|
| | 総合理工学部 | 87 |
| 学部 | 法文学部 | 26 |
| | 教育学部 | 17 |
| | 生物資源科学部 | 38 |
| | 人間科学部 | 23 |
| | 材料エネルギー | 10 |
| | 計 | 201 |
| 大学院 | | 32 |
| 合計 | | 233 |

また、上回生においては、健診後必要な学生に電話面接を実施した。

上回生健診時のカウンセラー面接実施者数

| | 所属 | (人) |
|-----|---------|-----|
| 学部 | 総合理工学部 | 7 |
| | 法文学部 | 5 |
| | 教育学部 | 4 |
| | 生物資源科学部 | 4 |
| | 人間科学部 | 4 |
| | 計 | 24 |
| 大学院 | | 1 |
| 合計 | | 25 |

2. 学生相談室利用状況

精神保健(再掲)・学生相談件数(延べ数)

| | 所属 | 精神保健件数 | 学生相談件数 | 計 |
|----|---------|--------|--------|-------|
| 学部 | 法文 | 76 | 292 | 368 |
| | 教育 | 39 | 194 | 233 |
| | 総合理工 | 157 | 500 | 657 |
| | 生物資源 | 90 | 337 | 427 |
| | 人間科学 | 47 | 302 | 349 |
| | 材料エネルギー | 8 | 63 | 71 |
| | 医 | 0 | 1 | 1 |
| | 小計 | 417 | 1,689 | 2,106 |

| | | | |
|--------|-----|-------|-------|
| 大学院 | 43 | 366 | 409 |
| 留学生 | 21 | 1 | 22 |
| 職員 | 0 | 338 | 338 |
| 家族・その他 | 32 | 151 | 183 |
| 合 計 | 513 | 2,545 | 3,058 |

学生相談におけるカウンセリングの相談内容（延べ数）

| | 修学進路 | 対人関係 | 心身健康 | 学生生活 | 心理性格 | 家族家庭 | ハラスメント | 発達 | LGBT | 緊急支援 | 合計 |
|-------------|------|------|------|------|------|------|--------|----|------|------|------|
| 学部生 | 263 | 53 | 538 | 548 | 106 | 25 | 10 | 23 | 12 | 16 | 1594 |
| 大学院生 | 42 | 9 | 119 | 123 | 22 | 6 | | 2 | 2 | 8 | 333 |
| 留学生・ 研究生 | | 1 | | | | | | | | 1 | 2 |
| 合計 | 305 | 63 | 657 | 671 | 128 | 31 | 10 | 25 | 14 | 25 | 1929 |

3. 支援活動報告

概要

(1) 2024年度学生相談

- 2008年度より行っている「気になる学生」への支援を引き続き行った。2024年度は104名の「気になる学生」を教員から紹介され、支援を行った。
- 2024年度の学生相談+精神保健件数は2,930名であり、コロナ前の水準に戻った。

(2) 学生健康チェック

- 学生が自分の状態をチェックでき、不安なことがある場合は保健管理センターに相談できるように「学生健康チェック」を行っている。
- 2024年には、全国的に自死の多い9月に行った。回答があった70名中、不安があると答えたのは22名で、身体的な不安 13名、こころの不安 12名、修学の不安13名であった（重複あり）。回答者全員に保健管理センターから連絡し、面接につなげた。

(3) 緊急支援

2024年度は自殺企図等緊急対応が2件あり、友人、教員、保護者対応を行った。また学生の自死2例、教員の死亡2例あり、教職員、学生にこころのケアを行った。

Ⅶ：教職員の健康管理

1. 教職員センター利用件数（再掲）（延べ数）

| 身体測定等 | 診察・健康相談 | 精神保健 | 産業保健(*) | 処置 | その他 | 合計 |
|-------|---------|------|---------|----|-----|-------|
| 13 | 519 | 46 | 575 | 51 | 29 | 1,245 |

産業保健(*)月別利用件数

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 合計 | 38 | 43 | 52 | 39 | 39 | 43 | 37 | 71 | 49 | 68 | 36 | 60 | 575 |

産業保健(*)対応件数年推移

| 年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 件数 | 203 | 313 | 555 | 710 | 620 | 575 |

令和元年より産業保健に関する対応件数が年々増加していた。個人面談だけでなく、所属や部局長とも連携をしながら対応を実施し、令和5年からはやや減少に転じている。

2. 一般定期健康診断事後措置

令和6年度の教職員対象の健診受診率は98.9%であり、高い受診率で推移している。有所見者に対して受診勧奨二次や健診、他院への紹介を行った。

健康診断受診率

| 年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 受診率(%) | 95.3 | 98.3 | 97.8 | 94.6 | 96.8 | 98.9 |

3. 特殊健康診断（特化物質・有機溶剤等使用者対象）事後措置

受診者のうち、有所見者3名に対して受診勧奨や二次健診、他院への紹介を行った。

4. 高ストレス者面談

令和6年度の教職員のストレスチェックの受講率は86.3%、高ストレス者は74名(9.8%)であった。そのうち12名(16.2%)と産業医面談を実施した。産業医面談率は徐々に上昇しており、今後も相談しやすい体制を維持していきたい。また、人事労務課と連携し、ストレスチェックの集団分析を実施しリスクの高い部署の管理者と面談を行い、具体的な対策を検討した。

過去の受診率等

| 松江地区 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 |
|-------------|------|------|------|------|------|
| 受検率(%) | 94.7 | 88.7 | 83.0 | 87.2 | 86.3 |
| 高ストレス者率(%) | 9.4 | 10.1 | 13.5 | 12.3 | 9.8 |
| 産業医面談受診率(%) | 6.3 | 6.5 | 10.3 | 15.4 | 16.2 |

5. 復職支援

令和6年度の松江地区での就労制限21名、病休及び休職者は12名に対して定期的な面談や復職後のサポート、所属課長との連携を実施した。また、休職からの復職者に対して復職判定委員会に参加した。

6. 学外メンタルヘルス相談

教職員がカウンセリングを受けたいと希望しても学内の保健管理センターでは相談しにくい、とためらう場合も多いため、2020年2月より学外メンタルヘルス相談機関が設置され、教職員は5回まで無料で利用できるサービスが開始、継続となっている。

7. 令和6年度中国・四国地区国立大学法人等労働安全衛生協議会

本学が主幹校として、2024年10月24・25日にサンラポーむらくもで令和6年度中国・四国地区国立大学法人労働安全衛生協議会を以下の内容で実施し、全体で69名の参加者であった。

講演1：安全衛生管理体制～現場の教職員と担当事務との連携～ 島根大学材料エネルギー学部 教授 田中 秀和 氏

講演2：学生・留学生に対する安全衛生教育について 九州工業大学 学生支援本部特任教授 嘉数 直樹 氏

講演3：メンタルヘルスについて 島根大学出雲保健管理センター教授 和氣 玲 氏

セッション1：化学物質の自律的管理に伴う安全衛生管理体制

セッション2：働き方改革

セッション3：災害対応

Ⅷ： 広報・教育活動

1. 全学研修会

(1) ジェンダーに関する講演会

2024年12月20日保健管理センターとダイバーシティ推進室との共催で、教養教育課目「ジェンダー」の講義を島根大学公開授業としてジェンダー～性を科学する～「多様な性と生」を実施し、220名（うち公開授業7名）の参加があった。

(2) 飲酒に関する講演会

2024年12月6日保健管理センターと島根県立心と体の相談センター主催で令和6年度アルコール関連問題地域セミナー、島根大学公開授業「酒と健康」を対面とオンデマンドのハイブリット形式で実施し28名の参加があった。松江保健管理センター杉原医師の講義と島根県断酒新生会の会員と会員家族から「アルコール依存症と回復へのみちのり」の内容で体験談をお話いただいた。また本講演会は動画で記録し、医学部1年生対象の授業、健康科学議論で186名も視聴した。

2. 教職員対象の研修会

(1) 新任教員・新採用職員研修

2024年4月3日に「学生相談と女性教職員への支援」について研修を行った。

(2) 大学入試試験における感染症対策研修

感染症予防対策として松江保健管理センターで作成した動画の「ノロウイルス感染症対策～嘔吐物処理・消毒方法～」(HP公開)を改めて周知した。

(3) e-ラーニングの実施

e-ラーニング「薬物乱用について」を行い、99.8%の教職員が視聴した。

3. 学生対象の研修会

(1) 新入生対象オリエンテーション

新入生に対しては入学前より保健管理センターの紹介や健康診断についてHPで公開し情報の周知を行った。

(2) 入学時オリエンテーション「健康な学生生活を送るために」

総合理工学部のCS基礎において、新入生を対象とする授業として、大学生活におけるメンタルヘルス上の課題や相談先の紹介、メンタルヘルスの維持に関する心理教育を実施した。

(3) 「薬物乱用の注意」「カルトへの注意」

多くの新入生が受講する一般教養「健康スポーツ」の授業内で「健康な学生生活のために」と題して薬物乱用やカルトへの注意喚起を行った。また、カルトに関しては合格通知に新入生及び保護者宛にカルト集団の勧誘に注意する旨の文書を同封した。

4. 松江保健管理センターホームページ

HPでは保健管理部門、学生相談部門に分けて活動の紹介を行い、英語でのページも作成している。

センターの活動や健康に関する情報を随時TOPページに掲載し、2024年度は42件の記事を公開した。1年間でおおよそ9万件のアクセスがあった。

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|
| アクセス数 | 12,849 | 4,699 | 5,498 | 9,682 | 6,292 | 4,071 | 3,898 | 3,299 | 8,996 | 12,587 | 8,602 | 11,370 | 94,974 |

IX：その他の活動

1. 学内機関との連携

(1) 障がい学生支援室

松江保健管理センター・学生相談室に相談のあった学生のうち、障がいに対する大学での合理的配慮を希望する学生や保護者を紹介している。また、障がい学生支援室に相談のあった学生のうち、心身の不調を伴う学生の紹介を受け、支援を行い、情報共有のための定期的な会議を実施している。

(2) 国際課

留学生のセンター利用者数は年間273名と多く、相談は多岐に渡る。心身の不調を訴える学生や家族との連絡等に関して国際課と定期的な会議を実施しながら連携している。

2. 学外機関との連携

(1) 島根県東部発達障がい者支援センター「ウィッシュ」

アセスメントや就職支援等必要な学生に対し、連携して支援にあたっている。

(2) 若者サポートステーション（さぼステ）

アセスメントや就職支援等必要な学生に対し、連携して支援にあたっている。

(3) しまね性暴力被害者支援センターさひめ

性暴力被害に遭った学生に対し、しまね性暴力被害者支援センターさひめを紹介し、必要に応じて各種相談等における連携を図っている。

活 動

【出雲保健管理センター】

I 学 術 研 究 活 動

1. 学会・研究会参加

2024年

| | | |
|-----|---|--|
| 6月 | 第121回日本精神神経学会学術総会 日本ユング心理学会第12回大会 | 和氣 玲 大野晋平 |
| 7月 | 第39回日本老年精神医学会総会 第71回山陰精神神経学会 島根県臨床心理士・公認心理師協会主催 基礎研修会 | 和氣 玲 和氣 玲 和田葉子 原 美貴 |
| 8月 | 第44回島根県学生相談研究会 | 和氣 玲 和田葉子 原 美貴 大野晋平 今岡絵美子 永見茉里 今岡絵美子 |
| | 中国四国大学保健研修会 厚生労働省「中国四国ブロックエイズ対策促進事業」 令和6年度第1回HIV/AIDS 専門カウンセラー研修会 | 原 美貴 |
| 10月 | 第65回日本児童青年精神医学会総会 日本箱庭療法学会第37回大会 | 和氣 玲 大野晋平 |
| 11月 | 第62回全国学生相談研修会 | 原 美貴 |

2025年

| | | |
|----|--|---------------------------------------|
| 1月 | 第58回全国学生相談研究会議 2024年度第1回日本ユング心理学会オンライン事例検討セミナー | 原 美貴 大野晋平 |
| 2月 | 第47回中国四国学生相談研究会 | 和氣 玲 和田葉子 原 美貴 大野晋平 今岡絵美子 |
| | 島根県臨床心理学研究会第44回ワークショップ 令和6年度島根大学医学部附属病院子どものこころ診療部研修会『かかりつけ医等 発達障害対応力向上研修』 島根県臨床心理士・公認心理師協会主催 島根県 HIV カウンセリング事業研修会 | 和氣 玲 和氣 玲 和田葉子 原 美貴 |
| | 厚生労働省「中国四国ブロックエイズ対策促進事業」 令和6年度第2回HIV/AIDS 専門カウンセラー研修会 | 原 美貴 |
| 3月 | 日本臨床心理士会主催 中国四国ブロック災害支援研修会 | 和田葉子 原 美貴 |

2. 学会・研究会発表

2024年

- 7月 「発達障害と思われた高齢者の1症例」
長濱道治、河野公範、北川有希、山内真喜夫、正岡浩、三原靖葉、林茉衣、伊藤司、佐藤皓平、山下智子、林田麻衣子、大拙孝治、和氣玲、稲垣正俊
第71回山陰精神神経学会
- 「老年期精神病と思われた一例」
北川有希、山内真喜夫、正岡浩、三原靖葉、林茉衣、伊藤司、佐藤皓平、山下智子、長濱道治、河野公範、林田麻衣子、岡崎四方、大拙孝治、和氣玲、稲垣正俊
第71回山陰精神神経学会
- 10月 「家族の自死を契機として強迫性障害を発症し、不登校を認めた3症例」
和氣玲、稲垣卓司、山下智子
第65回日本児童青年精神医学会総会
「ひとりに向き合う心理療法—他者と繋がり、自らと繋がっていくことについての一考察—」
大野晋平
日本箱庭療法学会第37回大会
- 11月 「幻覚・妄想状態を呈した発達障害の1症例」
長濱道治、河野公範、北川有希、山内真喜夫、飯島慶郎、槻宅雅史、正岡浩、三原靖葉、林茉衣、伊藤司、佐藤皓平、山下智子、林田麻衣子、岡崎四方、大拙孝治、和氣玲、稲垣正俊
第64回中国四国精神神経学会
「精神科コンサルテーション・リエゾンにおける高齢者の食欲低下に対する薬物療法的介入」
長濱道治、河野公範、北川有希、山内真喜夫、飯島慶郎、槻宅雅史、正岡浩、三原靖葉、林茉衣、伊藤司、佐藤皓平、山下智子、林田麻衣子、岡崎四方、大拙孝治、和氣玲、稲垣正俊
第37回日本総合病院精神医学会総会

3. 学術論文

稲垣卓司, 和氣玲, 井上顕 (2024). 不登校生徒の中学から高校への学業継続状況の検討. 精神科治療学, 39巻, 9号, pp.1057-1061.

大野晋平 (2023). ト라우マ的体験への心理学的アプローチ-守り、主体、語ることという観点から. 臨床ユング心理学研究, vol. 10, No. 1, pp. 17-28.

4. 研究助成

和氣玲 基盤研究(C) 22q11.2 欠失症候群患者にみられる精神疾患発症に関するストレス脆弱性の解明

Ⅱ 教育活動

和氣 玲

行動科学（基礎教育）
精神看護学（基礎教育）
健康科学概論（基礎教育）
環境保健医学（専門教育）
医学概論／人体の構造と機能および疾病（専門教育）
精神保健学Ⅰ（専門教育）
精神医学Ⅰ／精神疾患とその治療（専門教育）
精神医学Ⅱ（専門教育）
精神保健福祉実習（専門教育）
精神保健福祉実習指導（専門教育）
専門演習（専門教育）
卒業研究（専門教育）
健康科学特論Ⅱ（大学院教育）
健康・行動科学基礎論（大学院教育）
精神保健学特別演習ⅠA（大学院教育）
精神保健学特別演習ⅡB（大学院教育）
女性の精神保健学（大学院教育）
神経科学Ⅰ（大学院教育）
生体機能測定学Ⅰ（大学院教育）
精神看護学（大学院教育）

和田葉子

行動科学（基礎教育）
人間心理（基礎教育）

Ⅲ 社会貢献・講演

和氣 玲

役員等

日本神経精神医学会 評議委員

日本心身医学会中国・四国地方会 代議員

日本精神科診断学会 評議委員

公益社団法人全国大学保健管理協会 中国四国地方部会 幹事

授業・講演等

島根リハビリテーション学院 「精神医学」 講義

和田葉子

役員等

島根県臨床心理士・公認心理師協会 会長

島根県精神保健福祉協会 評議員

島根県自死総合対策連絡協議会 委員

島根県社会福祉審議会児童福祉専門分科会 委員

島根県災害時精神保健医療体制運営委員会 委員

出雲市市民活動支援課 女性相談スーパーバイザー

授業・講演等

出雲市子ども若者支援センター職員研修 講師

島根県臨床心理士・公認心理師協会第三者委員会研修 講師

島根大学医学部附属病院職員新人研修 講師

島根県看護協会新人研修 講師

島根県臨床心理士・公認心理師協会学校臨床部会継続研修拡大会 講師

その他

厚生労働省こころの健康づくり対策事業心のケア 相談員

原美貴

役員等

島根県臨床心理士・公認心理師協会 医療保健担当理事

授業・講演等

松江看護高等専修学校 「基礎看護技術 患者の心理」 講義

その他

島根県HIV/AIDS派遣カウンセラー

厚生労働省 こころのケア相談員

大野晋平

授業・講演等

松江総合医療専門学校 「カウンセリング理論」 講義

IV 事業・業務

1. 年間行事

| 月 | 行事 |
|-----|---|
| 4月 | 新入生オリエンテーション 新入生健康調査（入学時健康調査票提出） |
| 5月 | 【4～5月】定期健康診断（在学生・留学生） 【6～8月】定期健康診断事後措置（在学生・留学生） 令和6年度入学生のB型肝炎ワクチン接種（1回目①） |
| 6月 | 令和6年度入学生のB型肝炎ワクチン接種（1回目②） 保育所実習のための健康診断書作成（看護学科3年生） |
| 7月 | 令和5年度入学生のB型肝炎ワクチン接種（3回目） 令和6年度入学生のB型肝炎ワクチン接種（2回目） |
| 8月 | 医学部オープンキャンパス 救護班 学士編入学選抜試験 救護班(一次) 薬剤など業務の相互チェック（出雲・松江） 第44回島根学生相談研究会 |
| 9月 | 学士編入学選抜試験 救護班(二次) 職員のB型肝炎ワクチン接種（1回目） 職員・学生のHPVワクチン接種(1回目①) |
| 10月 | 職員・学生のHPVワクチン接種(1回目②) 職員のB型肝炎ワクチン接種（2回目） 大学院入試 救護班 |
| 11月 | 学生・職員インフルエンザワクチン接種 医学部・附属病院総合災害訓練 職員・学生のHPVワクチン接種(2回目) 臨床実習のための「抗体価及びワクチン接種証明証」「感染管理カード」作成(医学科4年生) |
| 12月 | 学生・職員インフルエンザワクチン接種 令和6年度入学生のB型肝炎ワクチン接種（3回目） 学校推薦型選抜試験 救護班 |
| 1月 | 大学入学共通テスト救護班 大学院入試 救護班 薬剤など業務の相互チェック（出雲・松江） |
| 2月 | 国家資格免許申請用の健康診断書作成（看護学科4年生・医学科6年生） 入学者選抜試験（前期日程） 救護班 職員・学生のHPVワクチン接種(3回目) |
| 3月 | 入学者選抜試験（後期日程） 救護班 単位未修得者面接の実施（～4月） 職員のB型肝炎ワクチン接種（3回目） |

2. 年間を通しての業務

| | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 日常の健康相談（身体面及び心の健康相談）・ 医師の診察・ 医学部教員との学生についての会議・連携・ 応急処置・往診・ 医療機関（専門医）への紹介・ 感染症対応・ 4種感染症追加ワクチン接種管理・ カウンセリング・ 心理検査 | <ul style="list-style-type: none">・ 薬剤在庫管理、定期点検・ 休養室の提供・ 救急バック、車いす、血圧計等の貸し出し・ 検査機器の利用（身長体重計、血圧計）・ ホームページの更新・ ハラスメント相談・ 産業医面談・ 各種健康診断書、意見書、ワクチン接種証明書の発行 |
|---|---|

3. 定期会議

- ・ 出雲・松江連絡会議（理事・学長）（2回／年）
- ・ 松江・出雲合同カンファレンス（1回／月）※4月除く
- ・ 出雲保健管理センターミーティング（1回／月）※4・8・3月除く
- ・ 学生相談懇談会（1回／月）※4・8・3月除く
- ・ 出雲保健管理センター管理運営委員会（4回／年）

V 保健管理部門

1. 学生定期健康診断

(1) 健康診断項目

| 学年 | 内科健診 | 身体計測 (BMI 含む) | 血圧測定 | 尿検査 | 胸部 X 線検査 | Web 問診 |
|-----------|------|------------------|------|-----|----------|--------|
| 医学科 1 年生 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 医学科 2 年生 | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| 医学科 3 年生 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 医学科 4 年生 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 医学科 5 年生 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 医学科 6 年生 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 看護学科 1 年生 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 看護学科 2 年生 | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| 看護学科 3 年生 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 看護学科 4 年生 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 大学院生 昼区分 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |

4 月～5 月 健康診断の実施。（※対象者は、休学者と来日前の者は除く）

日程：内科健診は 5 日間(1 日当たり 3～4 時間)

胸部 X 線検査は 8 日間(1 日当たり 1.5～2 時間)

場所：内科健診はラーニングコモンズ、胸部 X 線は附属病院放射線部

6 月～9 月 健康診断の再検査（尿検査）を実施及び学校医によるフォロー、該当者（要精密検査）に対して紹介状を作成し、受診勧奨を行う。

(2) 健康診断受診率

| 対象者 | 対象人数 | 内科健診 受診者数(人) | 内科健診 受診率 (%) | 尿検査 受検者数(人) | 尿検査 受検率 (%) | 胸部X線検査 受検者数 (人) | 胸部X線検査 受検率(%) | Web問診 回答者数 (人) | Web問診 回答率 (%) |
|----------|------|-----------------|--------------------|----------------|-------------------|-----------------------|------------------|----------------------|---------------------|
| 医学科1年生 | 111 | 103 | 92.8% | 102 | 91.9% | 102 | 91.9% | 96 | 86.5% |
| 医学科2年生 | 114 | 102 | 89.5% | 101 | 88.6% | 6 [*] | 5.3% | 96 | 84.2% |
| 医学科3年生 | 112 | 102 | 91.1% | 85 | 75.9% | 104 | 92.9% | 94 | 83.9% |
| 医学科4年生 | 113 | 101 | 89.4% | 79 | 69.9% | 102 | 90.3% | 90 | 79.6% |
| 医学科5年生 | 119 | 103 | 86.6% | 90 | 75.6% | 87 | 73.1% | 97 | 81.5% |
| 医学科6年生 | 106 | 90 | 84.9% | 78 | 73.6% | 86 | 81.1% | 87 | 82.1% |
| 看護学科1年生 | 65 | 65 | 100.0% | 63 | 96.9% | 65 | 100.0% | 62 | 95.4% |
| 看護学科2年生 | 60 | 58 | 96.7% | 55 | 91.7% | — | — | 60 | 100.0% |
| 看護学科3年生 | 58 | 58 | 100.0% | 58 | 100.0% | 57 | 98.3% | 55 | 94.8% |
| 看護学科4年生 | 64 | 62 | 96.9% | 56 | 87.5% | 62 | 96.9% | 64 | 100.0% |
| 大学院生 昼区分 | 56 | 47 | 83.9% | 46 | 82.1% | 40 | 71.4% | / | / |
| 合計 | 978 | 891 | 91.1% | 813 | 83.1% | 711 | 72.7% | 801 | 81.9% |

※医学科2年生の胸部X線受検対象者は2年次編入生(5名)と希望者(1名)のみ

(3) 健康診断結果の有所見者の人数及び事後措置

① 内科診察

内科診察有所見者数及び割合

| | | 人数(人) | 割合(%) |
|------|-------|-------|-------|
| 有所見者 | 要治療 | 1 | 0.1 |
| | 要精密検査 | 11 | 1.2 |
| | 要継続医療 | 17 | 1.9 |
| | 要経過観察 | 20 | 2.2 |
| | 合計 | 49 | / |
| 異常なし | | 842 | 94.5 |
| 合計 | | 891 | 100.0 |

表に示した4段階評価で内科医に診察してもらい、要精密検査の判定の学生については、紹介状を作成し医療機関受診を勧奨した。受診者数891名のうち要精密検査は11名。そのうち4名は学校医を受診、そのうち3名に紹介状を作成し外部医療機関にて精密検査を実施した。学校医の受診を希望しなかった7名のうち、3名は紹介状受取りに応じ、そのうち1名より医療機関受診の報告を受けた。

② 尿検査

尿検査受検者は813名であり、尿糖1+以上、尿蛋白1+以上、尿潜血1+以上のいずれか、または複数の所見が認められた場合を「要精密検査」として再検査の対象とした。

その結果、35名に上記の所見が認められたため、対象者に対してメールにて再検査の案内を行った。メールに反応のあった19名のうち、再検査を実施したのは9名であり、そのうち2名に再度異常所見が確認されたため、外部医療機関への紹介状を作成した。両名からは医療機関受診の報告があった。

また、再検査を希望せずに紹介状の作成を希望した学生が4名おり、これらの学生にも紹介状を発行したが、医療機関受診の報告は得られなかった。

女子学生において尿潜血の割合が高かったが、これは月経の影響による可能性が考えられる。次年度以降は、尿検体採取時の注意事項について、より詳細な説明を記載する必要があると考える。

尿検査有所見者数(人)

| | 受検者 | 要精密検査者 | | |
|---|-----|--------|-----|-----|
| | | 尿糖 | 尿蛋白 | 尿潜血 |
| 男 | 325 | 4 | 3 | 3 |
| 女 | 489 | 2 | 2 | 22 |

再検査受検者数(人)

| | 再検査受検者(人) | 外部医療機関紹介者(人) |
|---|-----------|--------------|
| 男 | 3 | 1 |
| 女 | 6 | 1 |

③ 血圧

健診当日、自動血圧計で測定し、血圧高値(収縮期血圧140以上、拡張期血圧90以上)を示した学生は、再検査の対象とした。受検者891名のうち、107名に上記所見を認め、メールで再検査を呼び掛けた。そのうち68名に再検査を実施し、二次健診でも血圧高値であった16名を高血圧者とした。高血圧者16名のうち、9名が自宅での血圧測定に応じ、そのうち血圧高値が持続した1名と紹介状を希望した2名に紹介状を作成し、受診を勧奨した。3名のうち、1名より医療機関受診の報告を受けた。

二次健診の対象となった血圧高値者

| | 男 | 女 | 合計 |
|--------------|-----------|----------|-----------|
| 対象者数(人) | 78 | 29 | 107 |
| 受検者数(人) | 44 | 24 | 68 |
| 高血圧者数(%対受検者) | 13(29.5%) | 3(12.5%) | 16(23.5%) |

高血圧者16名への対応

| | |
|---------------------|--------------|
| 1週間自宅での血圧測定実施 | 9名(1名紹介状も作成) |
| 紹介状作成 | 2名 |
| かかりつけ医へ相談 | 3名 |
| 白衣性高血圧の申告あり 経過観察 | 2名 |

④BMI低値及び高値

本年度の受検者891名のうち、BMIが18.0以下の学生は46名、25.0以上の学生は99名であった。

BMI低値者に対しては、任意の追加問診を実施した。問診内容は、①1年前の体重、②月経周期に関する調査（女性のみ）、③EAT-26（摂食障害のスクリーニング質問票）、④学校医の診察希望の有無である。

46名の対象者のうち、28名から回答が得られた。学校医の診察を希望した2名は、診察を受けることで安心感を得ることができた。一方、診察を希望しなかった学生への継続的なフォローは困難であり、今後の対応方法について検討が必要である。

また、BMI高値者99名については、今年度は十分なフォローを行うことができなかった。次年度以降、対応方法の検討を進める必要がある。

BMI低値及び高値者

| | 男(361名) | | 女(530名) | |
|---------|---------|-------|---------|-------|
| | 人数(人) | 割合(%) | 人数(人) | 割合(%) |
| BMI25以上 | 66 | 18.2 | 33 | 6.2 |
| BMI18以下 | 13 | 3.6 | 33 | 6.2 |

⑤ 胸部X線検査

受検者711名のうち、有所見者は1名であったが精密検査は不要であった。

結核健診対象者である医学科1年生92名、看護学科1年生65名、医学科2・3年次編入生10名は、全員が受検を完了した。

一方、留学生のうち6名は、来日が間に合わなかったことや妊娠中であることを理由に受検できなかった。

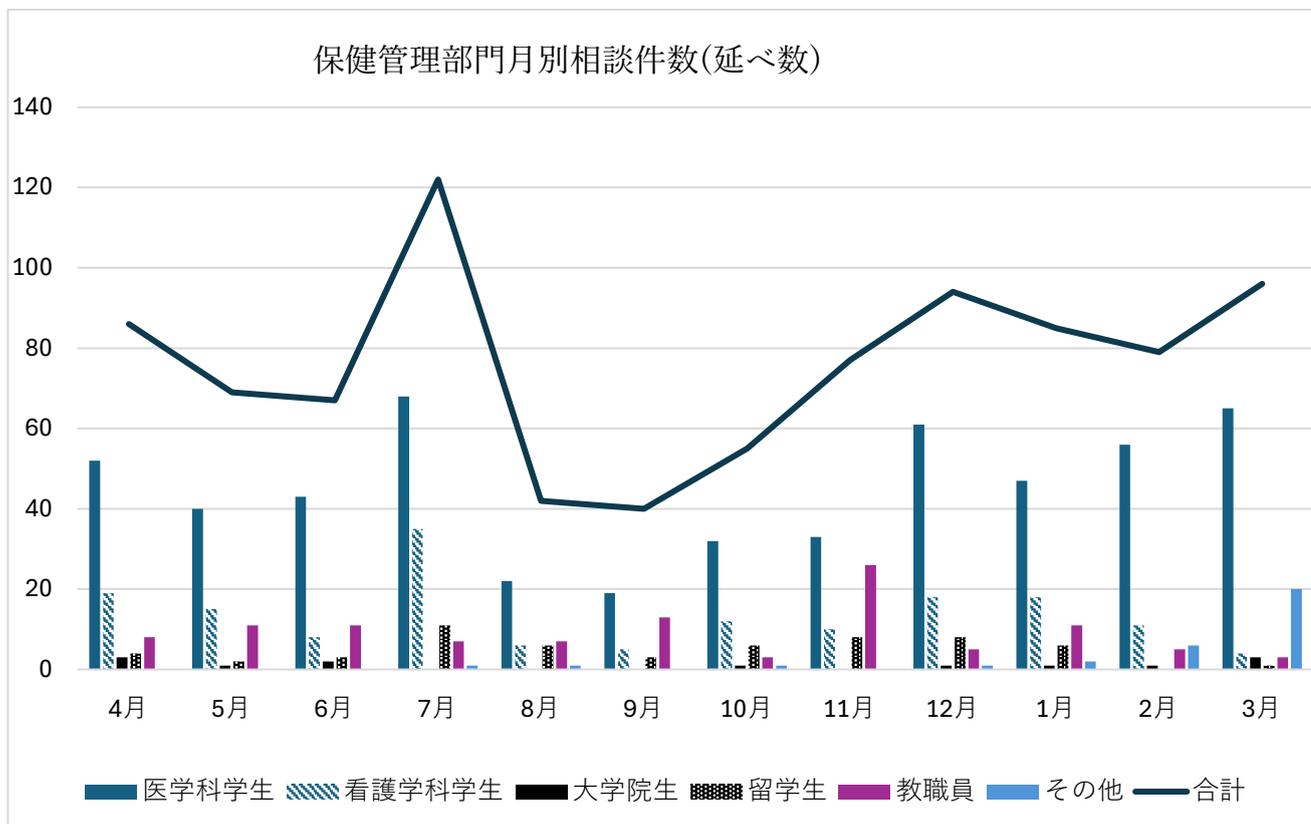
2. 出雲保健管理センター利用状況

(1) 学生・教職員の健康相談等

保健管理部門月別相談件数(延べ数)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---------|----|----|----|-----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 医学科学生 | 52 | 40 | 43 | 68 | 22 | 19 | 32 | 33 | 61 | 47 | 56 | 65 | 538 |
| 看護学科学学生 | 19 | 15 | 8 | 35 | 6 | 5 | 12 | 10 | 18 | 18 | 11 | 4 | 161 |
| 大学院生 | 3 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 3 | 13 |
| 留学生 | 4 | 2 | 3 | 11 | 6 | 3 | 6 | 8 | 8 | 6 | 0 | 1 | 58 |
| 教職員 | 8 | 11 | 11 | 7 | 7 | 13 | 3 | 27 | 5 | 14 | 7 | 3 | 116 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 6 | 20 | 32 |
| 合計 | 86 | 69 | 67 | 122 | 42 | 40 | 55 | 78 | 94 | 88 | 81 | 96 | 918 |

※その他は、卒業生、家族、新入学予定者等である。



出雲保健管理センター利用内容(延べ数)

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----------------------------|----------------------|-----|-----|----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|-----|------|
| 測定 | 身体測定 | 0 | 1 | 8 | 2 | 1 | 1 | 3 | 24 | 2 | 0 | 0 | 0 | 42 |
| | バイタル測定 | 6 | 10 | 10 | 12 | 2 | 3 | 3 | 6 | 24 | 8 | 4 | 2 | 90 |
| 健康 診 察 相 談 | 保健師による健康相談 | 32 | 30 | 17 | 30 | 13 | 16 | 16 | 16 | 14 | 22 | 23 | 24 | 253 |
| | 医師による診察 | 4 | 6 | 4 | 11 | 2 | 1 | 5 | 5 | 0 | 3 | 1 | 1 | 43 |
| | 連携・会議 | 13 | 7 | 1 | 3 | 6 | 4 | 1 | 5 | 2 | 2 | 1 | 1 | 46 |
| 産業医としての面談 | | 0 | 4 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 3 | 2 | 1 | 17 |
| 処 置 | 簡易処置 | 4 | 4 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 18 |
| | 投薬 | 3 | 1 | 2 | 4 | 0 | 3 | 0 | 2 | 3 | 1 | 0 | 0 | 19 |
| | 休憩室利用 | 9 | 8 | 6 | 6 | 1 | 6 | 6 | 2 | 10 | 9 | 1 | 1 | 65 |
| 感 染 症 管 理 | コロナ対応 | 2 | 8 | 8 | 14 | 4 | 1 | 9 | 4 | 2 | 5 | 6 | 4 | 67 |
| | 感染症対応 (インフルエンザ等) | 2 | 0 | 0 | 3 | 1 | 1 | 2 | 3 | 9 | 16 | 5 | 6 | 48 |
| | 抗体価検査結果・ ワクチン接種関連 | 4 | 1 | 4 | 28 | 8 | 4 | 4 | 9 | 13 | 9 | 10 | 27 | 121 |
| 専 門 医 紹 介 | 専門医紹介(口頭紹介) | 7 | 6 | 4 | 4 | 2 | 4 | 6 | 5 | 3 | 5 | 2 | 4 | 52 |
| | 専門医紹介(紹介状有) | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | 2 | 1 | 13 |
| 書類発行(意見書・診断書・ 抗体価・健診結果等) | | 13 | 11 | 21 | 20 | 2 | 3 | 5 | 7 | 7 | 16 | 20 | 13 | 138 |
| その他 | | 5 | 4 | 1 | 5 | 3 | 0 | 3 | 1 | 35 | 7 | 7 | 16 | 87 |
| 合計 | | 104 | 101 | 89 | 145 | 47 | 50 | 68 | 91 | 128 | 110 | 84 | 102 | 1119 |

3. 医学部生の感染症対策

(1) 小児4種感染症及びB型肝炎の抗体等に関する検査及び予防接種

医学部の学生は、臨床実習および臨地実習を通じて、医療機関内で様々な感染症患者と接触する機会がある。これに伴い、学生自身が感染源とならないこと、また感染症に罹患しないことが求められる。そのため、各種感染症に対する免疫獲得状況の把握と、必要な予防接種の実施が不可欠である。

特に、医療現場において注意すべき感染症として、麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎（いわゆる小児4種感染症）、B型肝炎およびインフルエンザが挙げられる。これらは、いずれもワクチン接種により予防可能な感染症（VPD：Vaccine-Preventable Diseases）であり、医療従事者としての安全確保の観点から、実習開始前の予防接種が強く推奨される。

出雲キャンパスでは、これまで入学年度7月に保健管理センターにて採血を実施していたが2024年度入学生より入学前に個人で抗体価検査を実施することとした。それにより、例年より早期に抗体価結果を把握することができ、抗体価の基準値を満たさない場合には早期にワクチン接種を勧奨することができた。

① 入学前個人採血制度の導入

2024年度入学者に対し、感染症対策の一環として、「感染管理健康調査票」および「感染症対策のための入学前受診と抗体価検査の結果提出のお願い」用紙を送付した。入学時オリエンテーションにおいて感染管理に関する説明を実施し、4月末までに「感染管理健康調査票」提出すること、学生自身も調査票のコピーを自己管理するよう勧奨を行った。本取り組みにより、感染症対策の意識向上と健康管理体制の強化を図った。

検査項目

麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎の各抗体価
HBs抗原・HBs抗体価

2024年度入学用紙 ※ 記入例と見本です

島根大学医学部 感染管理健康調査票 【見本】

| | | | | | |
|------|----------|----|-----|-------------|----|
| 学科 | 医学部 看護学科 | 性別 | 男・女 | 生年月日 | 西暦 |
| フリガナ | シメダイ タロウ | | | | |
| 氏名 | 島大 太郎 | | | 2005年 4月 5日 | |

医療機関ご担当者各位

- 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎は調査票の「表A」欄に抗体価検査の結果を記入してください。
- B型肝炎は調査票の「表B」欄に抗原検査と抗体検査の結果を記入してください。
- 必要事項を記入後、署名・捺印してください。

【麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎】

| 表A | 抗体価検査結果表 | | | |
|---------|--------------|------------|------|--|
| 項目 | 検査日(西暦) | 検査方法 | 抗体価 | 結果 |
| 麻疹 | 2024年 1月 27日 | EIA法 (IgG) | 15.1 | <input type="checkbox"/> 陽性 (16.0以上) → ワクチン不要 <input checked="" type="checkbox"/> 陽性 (基準未満) (2.0~15.9) → 1回接種 <input type="checkbox"/> 陰性 (2.0未満) → 2回接種 |
| 風疹 | 2024年 1月 27日 | EIA法 (IgG) | 8.0 | <input checked="" type="checkbox"/> 陽性 (8.0以上) → ワクチン不要 <input type="checkbox"/> 陽性 (基準未満) (2.0~7.9) → 1回接種 <input type="checkbox"/> 陰性 (2.0未満) → 2回接種 |
| 水痘 | 2024年 1月 27日 | EIA法 (IgG) | 1.9 | <input type="checkbox"/> 陽性 (4.0以上) → ワクチン不要 <input checked="" type="checkbox"/> 陽性 (基準未満) (2.0~3.9) → 1回接種 <input type="checkbox"/> 陰性 (2.0未満) → 2回接種 |
| 流行性耳下腺炎 | 2024年 1月 27日 | EIA法 (IgG) | 2.0 | <input type="checkbox"/> 陽性 (4.0以上) → ワクチン不要 <input checked="" type="checkbox"/> 陽性 (基準未満) (2.0~3.9) → 1回接種 <input type="checkbox"/> 陰性 (2.0未満) → 2回接種 |

↑ □に✓を記入。

【B型肝炎】

| 表B | 抗体価検査結果表 | | | |
|---------------|--------------|-------|-------------|---|
| 項目 | 検査日(西暦) | 検査方法 | 検査値・判定 | 結果 |
| B型肝炎 ※抗原検査 | 2024年 1月 27日 | CLIA法 | 0.005 IU/ml | <input type="checkbox"/> S抗原：陽性 S抗体：陽性 → 要受診 <input type="checkbox"/> S抗原：陽性 S抗体：陰性 → 要受診 |
| B型肝炎 ※抗体検査 | 2024年 1月 27日 | CLIA法 | 0.3 mIU/ml | <input type="checkbox"/> S抗原：陽性 S抗体：陽性(10以上) → 77%不要 <input checked="" type="checkbox"/> S抗原：陽性 S抗体：陽性(10未満) → 77%接種2回 <input type="checkbox"/> S抗原：陰性 S抗体：陽性 → 要受診 |

↑ □に✓を記入。↑ □に○を記入。↑ 該当する□に○を記入。

上記に相違ないことを証明します。

西暦 2024年 2月 1日
医療機関名 島根〇〇病院 医師名 〇〇 〇〇 印

② 小児4種感染症の抗体価検査結果

【EIA抗体価判定基準】

| 判定 | 麻疹 | 風疹 | 水痘 | 流行性耳下腺炎 |
|-----|-------------|------------|------------|------------|
| (+) | 16.0以上 | 8.0以上 | 4.0以上 | 4.0以上 |
| (±) | 2.0以上16.0未満 | 2.0以上8.0未満 | 2.0以上4.0未満 | 2.0以上4.0未満 |
| (-) | 2.0未満 | 2.0未満 | 2.0未満 | 2.0未満 |

(日本環境感染学会 (2020) 「医療者のためのワクチンガイドライン第3版」より抜粋)

上記の判定基準に沿って、以下の結果となった。

医学科 ※医学科は2年次編入生5名、3年次編入生5名を含む。

| 判定 | 麻疹 | | 風疹 | | 水痘 | | 流行性耳下腺炎 | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|
| | 人数(人) | 割合(%) | 人数(人) | 割合(%) | 人数(人) | 割合(%) | 人数(人) | 割合(%) |
| (+) | 23 | 20.5 | 45 | 40.2 | 96 | 85.7 | 73 | 65.2 |
| (±) | 88 | 78.6 | 64 | 57.1 | 9 | 8.0 | 27 | 24.1 |
| (-) | 1 | 0.9 | 3 | 2.7 | 7 | 6.3 | 12 | 10.7 |
| 合計 | 112 | 100.0 | 112 | 100.0 | 112 | 100.0 | 112 | 100.0 |

看護学科

| 判定 | 麻疹 | | 風疹 | | 水痘 | | 流行性耳下腺炎 | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|
| | 人数(人) | 割合(%) | 人数(人) | 割合(%) | 人数(人) | 割合(%) | 人数(人) | 割合(%) |
| (+) | 10 | 15.6 | 22 | 34.4 | 58 | 90.6 | 29 | 45.3 |
| (±) | 54 | 84.4 | 37 | 57.8 | 3 | 4.7 | 23 | 35.9 |
| (-) | 0 | 0.0 | 5 | 7.8 | 3 | 4.7 | 12 | 18.8 |
| 合計 | 64 | 100.0 | 64 | 100.0 | 64 | 100.0 | 64 | 100.0 |

③ 小児4種感染症の抗体価検査の事後措置

これまで本学では、「医療従事者のためのワクチンガイドライン第3版(2020)」に基づき、1歳以上で小児4種感染症(麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎)のワクチンを2回接種している学生については、抗体価が陰性であっても臨床実習への参加を認め、感染予防の観点から注意喚起を行う対応を取っていた。

しかし近年、2回の接種歴があるにもかかわらず抗体価が低い学生が一定数存在することが明らかとなり、医療専門職を目指す学生として、より厳密な感染対策を講じる必要性が高まってきた。このような状況を踏まえ、附属病院感染制御部との協議を経て、2023年度より抗体価の判定結果に応じた追加接種を促す方針へと変更した。

具体的には、以下の対応を実施している：

- ・抗体価が「±」判定の学生には、ワクチンを1回追加接種するよう勧奨。
- ・抗体価が「-」判定の学生には、ワクチンを2回追加接種(2回目は約2年後に接種)するよう勧奨。

これらの対応を円滑に進めるため、「感染管理健康調査票」の結果に基づき、対象学生に対して紹介状およびワクチン接種報告書を作成・配付した。学生には、追加接種が完了した後、ワクチン接種報告書を6月末までに提出するよう周知を実施。未提出者に対しては指導教員を含めた指導を行い接種勧奨を行うことにより早期体験実習までに接種を完了させることができた。

なお、2024年度は個人採血を実施した流れから、紹介状作成前に個人で接種を済ませる学生がいたため紹介状の内容と重複接種とならないよう注意を要した。今後は、紹介状を作成せずとも学生がワクチン接種を完了させられるような仕組み作りが必要である。

④ B型肝炎の抗原・抗体価検査結果

【抗体価判定基準】

| | | | |
|----|-----|---------|-------------------------------|
| | 判定 | HBs 抗原 | HBs 抗体 (EIA・CLIA・CLEIA・ECLIA) |
| 判定 | (+) | 検査方法による | 10mIU/ml 以上 |
| | (-) | | 10mIU/ml 未満 |

※参考：日本環境感染学会（2020）「医療者のためのワクチンガイドライン第3版」
JIHS肝炎情報センター

医学科 ※医学科は2年次編入生5名、3年次編入生5名を含む。

| 判定 | HBs抗原 | | HBs抗体 | |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| | 人数(人) | 割合(%) | 人数(人) | 割合(%) |
| (+) | 0 | 0.0 | 10 | 8.9 |
| (-) | 112 | 100.0 | 102 | 91.1 |
| 合計 | 112 | 100.0 | 112 | 100.0 |

看護学科

| 判定 | HBs抗原 | | HBs抗体 | |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| | 人数(人) | 割合(%) | 人数(人) | 割合(%) |
| (+) | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| (-) | 64 | 100.0 | 64 | 100.0 |
| 合計 | 64 | 100.0 | 64 | 100.0 |

⑤ B型肝炎の抗体価検査の事後措置

HBs抗体陰性かつHBs抗原陰性の学生を対象に、B型肝炎ワクチンを6月・7月・12月の3回接種（1シリーズ）を実施した。④の基準を参照し、対象者は医学科102名、看護学科は64名であった。小児4種感染症ワクチンと同様に、2023年度は個人採血をしていた流れから、個人でB型肝炎ワクチン接種を開始している学生が数名いたため重複接種とならないよう注意を要した。今後、個人接種と大学集団接種をするワクチンについてきちんと明文化をしていく必要がある。

(2) インフルエンザワクチン接種

平成11年度より、国家試験受験対策として医学科6年の希望者を対象にインフルエンザワクチン接種を開始し、現在は、臨床実習及び臨地実習の学年も対象としている。

Formsにて接種希望者調査を行い、希望者を対象に保健管理センターにてワクチン接種を実施した。

令和6年度インフルエンザワクチン接種者数・接種率

| 学年 | 対象者数(人) | 接種者数(人) | 接種率(%) |
|---------|-------------|---------|--------|
| 医学科4年生 | 113 | 46 | 40.7 |
| 医学科5年生 | 119 | 40 | 33.6 |
| 医学科6年生 | 106(休学者1名含) | 60 | 56.6 |
| 看護学科3年生 | 58 | 50 | 86.2 |
| 看護学科4年生 | 64 | 49 | 76.6 |
| 大学院生 | 5 | 2 | 40.0 |
| 合計 | 465 | 247 | 53.3 |
| 教職員 | | 77 | |

※教職員は、基礎医学系講座、学務課、保健管理センター、医学科図書館等の希望者。

(3) 新型コロナウイルス感染症への対応

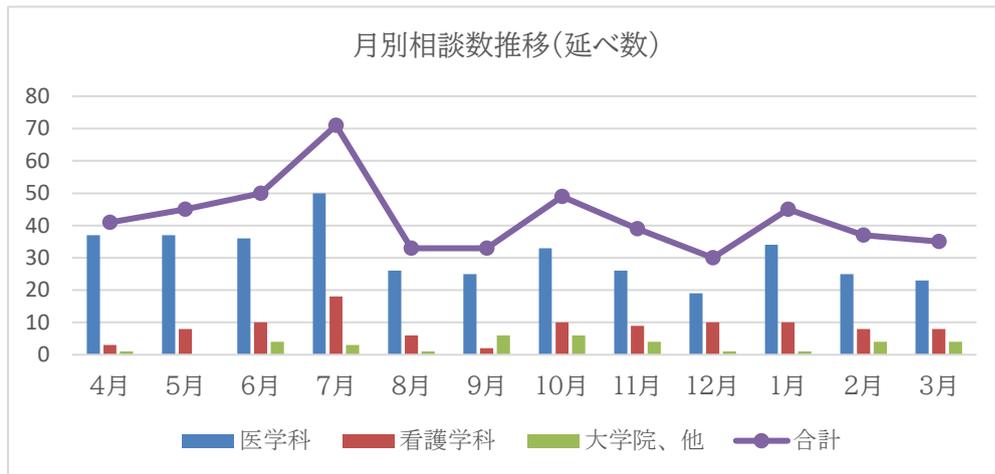
2023年5月8日より、島根大学では「新型コロナウイルス感染症に関わる島根大学行動指針フェーズ0（通常）」へ移行となった。これにより、大学全体としては通常の活動が再開されたが、医学部では附属病院を有する特性を踏まえ、「医学部生の感染対策」に記載されたガイドラインに基づき、学生が感染予防に努めるよう継続的に指導を行った。特に体調不良時には、学生が適切な判断を行えるよう、教務学生委員長や病院感染制御部と連携し、相談体制を整えることで迅速かつ適切な対応を可能とした。

VI 学生相談部門

1. 学生相談室利用状況

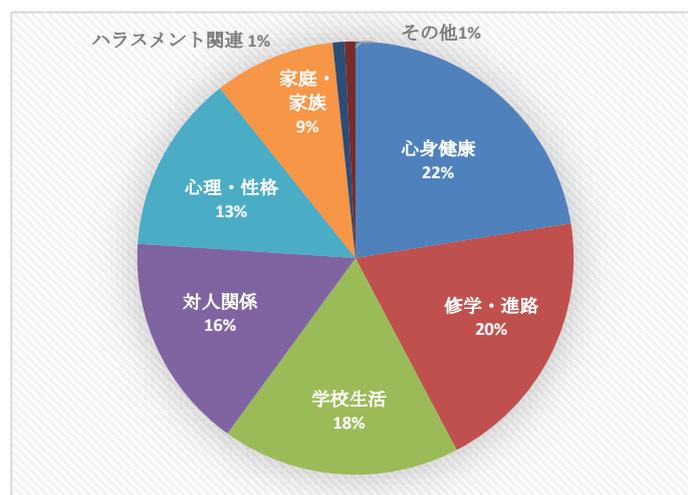
(1) 月別相談数(延べ数)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 医学科 | 37 | 37 | 36 | 50 | 26 | 25 | 33 | 26 | 19 | 34 | 25 | 23 | 371 |
| 看護学科 | 3 | 8 | 10 | 18 | 6 | 2 | 10 | 9 | 10 | 10 | 8 | 8 | 102 |
| 大学院他 | 1 | 0 | 4 | 3 | 1 | 6 | 6 | 4 | 1 | 1 | 4 | 4 | 35 |
| 合計 | 41 | 45 | 50 | 71 | 33 | 33 | 49 | 39 | 30 | 45 | 37 | 35 | 508 |



(2) 相談内容

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 修学・進路 | 16 | 20 | 30 | 38 | 13 | 11 | 16 | 20 | 18 | 26 | 21 | 21 | 250 |
| 心理・性格 | 11 | 13 | 20 | 38 | 15 | 7 | 14 | 5 | 7 | 9 | 10 | 18 | 167 |
| 対人関係 | 12 | 23 | 19 | 29 | 12 | 15 | 24 | 15 | 13 | 16 | 10 | 14 | 202 |
| 心身健康 | 21 | 26 | 33 | 38 | 15 | 24 | 23 | 23 | 17 | 32 | 16 | 14 | 282 |
| 学生生活 | 12 | 21 | 21 | 36 | 16 | 14 | 31 | 17 | 10 | 13 | 18 | 13 | 222 |
| ハラスメント関連 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 10 |
| 家庭・家族 | 3 | 9 | 10 | 12 | 11 | 9 | 15 | 8 | 10 | 13 | 7 | 6 | 113 |
| その他 | 3 | 0 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 11 |



(3) 援助手段

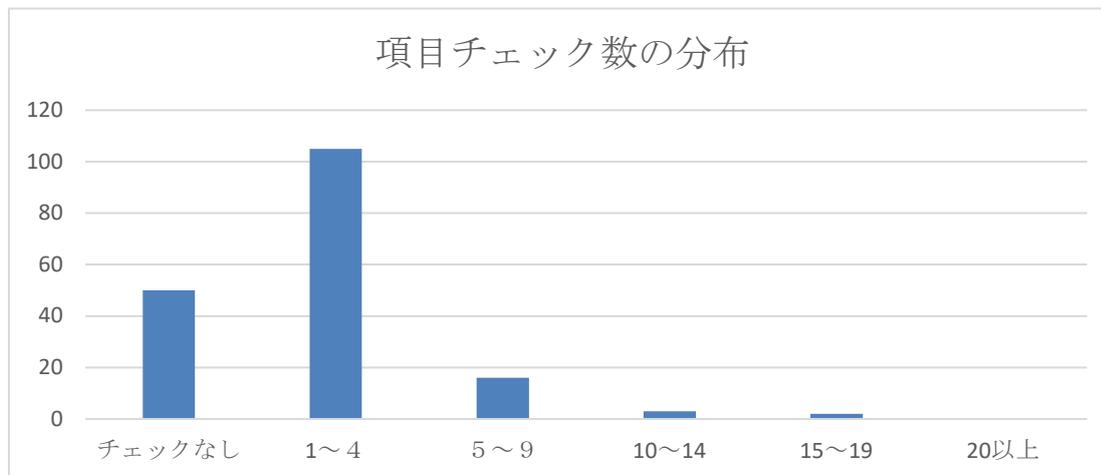
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 来室 | 34 | 39 | 43 | 62 | 29 | 24 | 42 | 31 | 25 | 37 | 33 | 30 | 429 |
| 電話 | 4 | 5 | 7 | 8 | 4 | 4 | 5 | 7 | 5 | 7 | 3 | 5 | 64 |
| メール | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 4 | 2 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 13 |
| その他 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 小計 | 41 | 45 | 50 | 71 | 33 | 33 | 49 | 39 | 30 | 45 | 37 | 35 | 508 |

(4) 援助方法

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| カウンセリング | 32 | 37 | 42 | 60 | 27 | 25 | 44 | 29 | 24 | 36 | 34 | 30 | 420 |
| 心理検査 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 2 | 1 | 0 | 13 |
| 家族相談 | 4 | 5 | 6 | 8 | 4 | 4 | 5 | 5 | 4 | 7 | 1 | 4 | 57 |
| 関係者コンサルテーション | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 8 |
| 関係者会議 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 情報共有 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 報告書作成 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| その他 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 |
| 小計 | 41 | 45 | 50 | 71 | 33 | 33 | 49 | 39 | 30 | 45 | 37 | 35 | 508 |

2. 入学時健康調査票

入学時に自記式の「入学時健康調査票Ⅱ」を配布、集計し、学生の健康度を把握した。チェック数が多い、気になる項目にチェックしているなどの観点から、「気になる学生」として12名を確認した。



3. 学生相談懇談会

学生相談懇談会は、学生支援に関わる教員ならびに関係者による連携会議として、原則毎月1回定期的に開催している。今年度は以下の日程で、センター内で開催した。

5月29日、6月26日、9月25日、10月23日、11月27日、12月25日、1月29日、2月19日

4. 学務課との連携

学生の学びを支援する活動として、以下のような連携活動を行った。

- ・指導教員等担当者検討会への出席
- ・留年学生との面談の実施

5. 島根学生相談研究会

以下の通りに開催し、出席した。

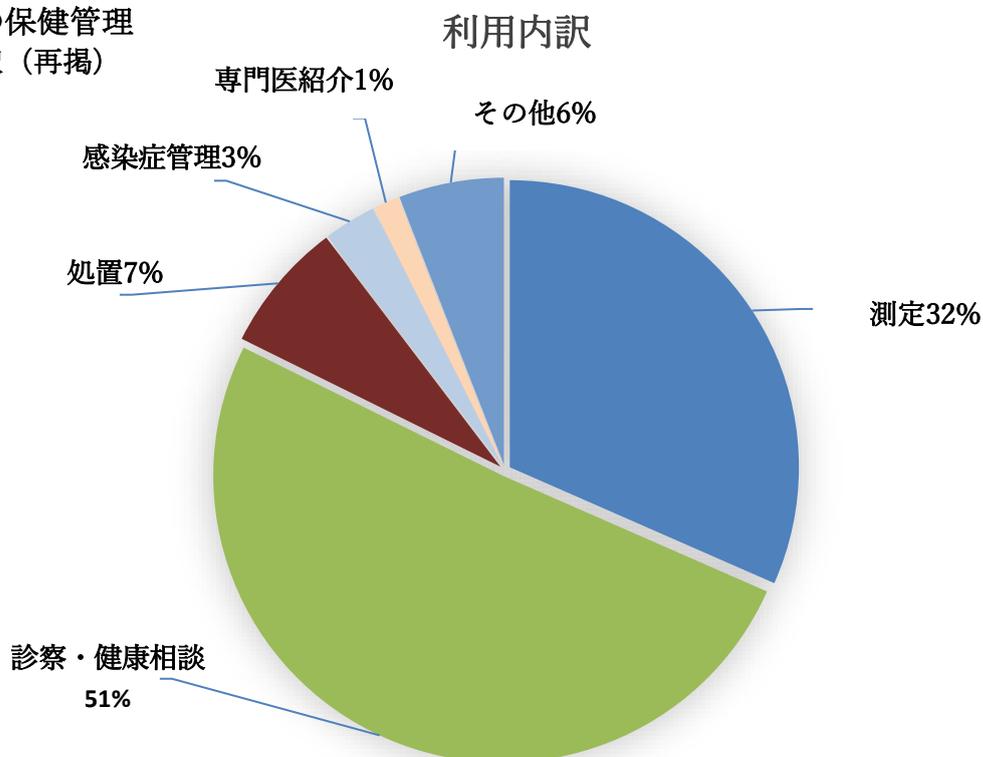
第44回学生相談研究会（出雲キャンパス会場） 令和6年8月28日

Ⅶ 産業保健部門

大学教職員や、病院職員に対する産業保健事業の主体は総務課労務管理担当であるが、出雲保健管理センターも連携して対応や相談を行っている。

1. 教職員の保健管理

(1) 利用内訳（再掲）



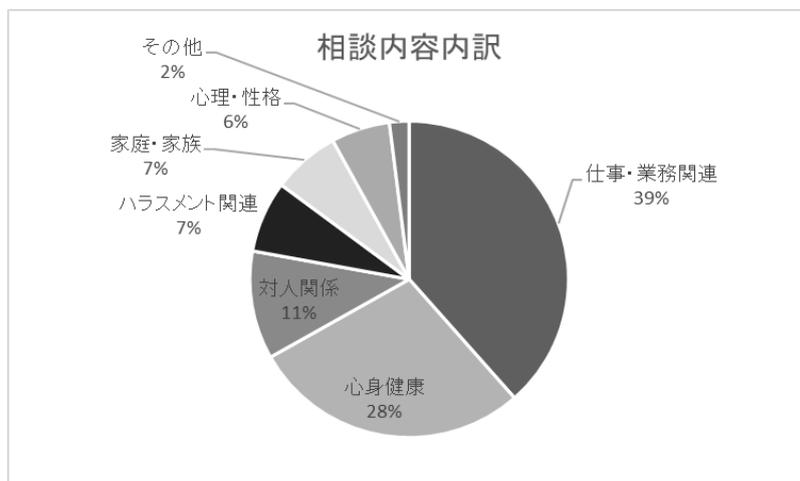
| 大項目 | 小項目 | 延べ件数 |
|---------|------------------|------|
| 測定 | バイタル測定 | 13 |
| | 身体測定 | 30 |
| 診察・健康相談 | 医師による診察 | 3 |
| | 保健師による健康相談 | 14 |
| | 連携・会議 | 28 |
| | 産業医面談 | 17 |
| | ハラスメント相談 | 7 |
| 処置 | 休憩室利用 | 7 |
| | 投薬 | 3 |
| 感染症管理 | 新型コロナウイルス | 3 |
| | 抗体価検査結果・ワクチン接種関連 | 1 |
| 専門医紹介 | 口頭 | 2 |
| その他 | その他 | 8 |
| 合計 | | 136 |

2. 教職員への心理支援

(1) 心理支援の利用状況

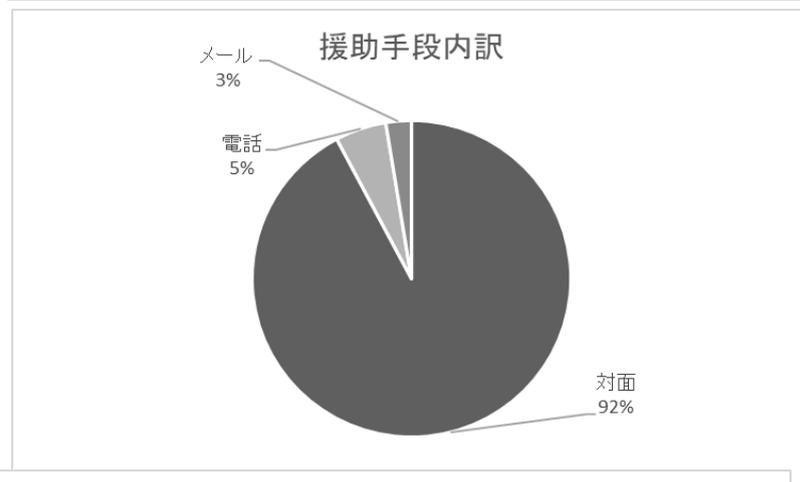
① 相談内容

| 相談内容 | 延べ件数 |
|----------|------|
| 仕事・業務関連 | 174 |
| 心身健康 | 128 |
| 対人関係 | 50 |
| ハラスメント関連 | 33 |
| 家庭・家族 | 31 |
| 心理・性格 | 27 |
| その他 | 9 |



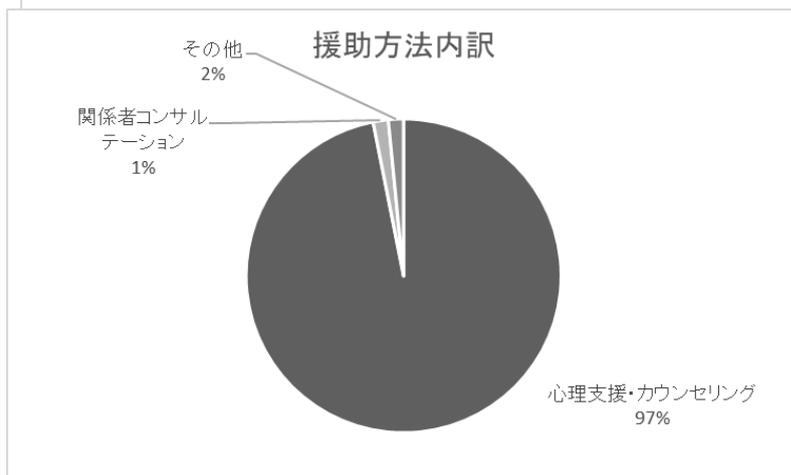
② 援助手段

| 援助手段 | 延べ件数 |
|------|------|
| 対面 | 178 |
| 電話 | 10 |
| メール | 5 |



③ 援助方法

| 援助方法 | 延べ件数 |
|--------------|------|
| 心理支援・カウンセリング | 187 |
| 関係者コンサルテーション | 3 |
| その他 | 3 |



(2) 心理支援活動報告

① 職場環境改善支援センター 「心理士による相談」 申し込み窓口開設

2024年度より島根大学附属病院職場環境改善支援センターが開設され、ホームページに、「心理士による相談」として、大学職員・病院職員向けに相談窓口が設置された。フォームへ入力することで相談の申し込みが可能となっている。またこれまで通り、メールや電話での相談申し込みも受け付けている。



島根大学医学部附属病院
職場環境改善支援センター

センターについて 各種相談窓口 心身の健康増進のために お知らせ

🏠 ホーム | 各種相談窓口 | 心理士による相談 |

心理士による相談

出雲保健管理センターでは、病院職員や大学職員の皆さまに向けて、心理士による相談を行っています。

相談希望の方は、こちらのフォームから申し込みください。

<https://forms.office.com/r/WGWG5qhrpq>

相談についての詳細は、出雲保健管理センターHP「職員向け心理相談」の項目をご覧ください。

https://shimane-u.health-izumo.wdeco.jp/_page/forstuff

② 応急的心理支援

業務上のイレギュラーな事態、あるいは重大案件に遭遇した附属病院スタッフ複数名に対し、部署長より依頼を受け、心理的ケアおよびフォローアップを行なった。

3. 産業医の業務

医学部事業部の産業医として、2024年度は以下のとおり業務を行った。

- ・春季と秋季に行われる職員一般・特殊定期健康診断の事後措置。
- ・毎月1回開催される医学部・附属病院合同安全衛生委員会への出席。
- ・毎月1度、医学部構内の職場巡視。
- ・ホルムアルデヒドなどの有害物質を使用する場所の作業環境測定の結果に対する意見提示。
- ・裁量労働制である教員の勤務時間の確認と、勤務時間が月に200時間以上である教員に対する事後措置（面接指導の勧奨、保健指導の勧奨、経過観察など）。
- ・RIを使用する業務を行っている教職員の健康判定と精密検査の勧奨。
- ・精神的な疾患で病気休暇を取得した教職員または休職した教職員にたいして、本人とその上司とともに三者面談、復職支援プログラムの作成、完全な復職に向けた支援。
- ・ストレスチェックの実施。ストレス度が高い教職員へ面接指導の勧奨。希望者に面接と事後措置。

資 料

I：目 標 と 計 画

第 4 期中期計画

(令和4 年4 月1 日～令和10 年3 月31 日、関連する箇所のみ)

V その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置

(1) ー 2 AI の活用により、学生相談窓口等の定型業務をオンラインで対応できる体制を整備することで、学生の利便性や対応業務の効率を向上させる。

X その他

4. 安全管理に関する計画

- (1) 学内構成員の健康保持に努めるため、大学が実施する健康診断の受診環境を整備する等、法令等に基づき適正な安全衛生活動を実施する。
- (2) ストレスチェックに基づく高ストレス者への面接指導の勧奨や、敷地内禁煙にあわせて保健管理センターで行う禁煙相談・外来の周知を図るとともに、近年増加傾向にあるメンタルヘルスに関する相談に対応するために学外に設置した相談窓口を活用する等、教職員がより健康で働きやすい環境を整備する。

令和 5年度 内部質保証に関する自己点検・評価書

(関連する箇所のみ)

2. 学生支援

2-1. 学生生活、就職等進路、ハラスメントへの相談等

学生生活全般に関する相談体制は、学生相談室を設置している。また、身体的・精神的な健康に関する相談体制は松江及び出雲の保健管理センターで行う体制が整えられ、障がい学生支援室と連携を図りながら、十分な相談支援を行っている。就職等進路の相談へも専門的知識を持った相談員を配置し、就職に係る様々なイベントを開催し就職支援を行っている。

ハラスメント対策に関しては、「ハラスメント対策規程」を制定し、ハラスメント防止・対策に関する方針の周知・啓発、研修・講習を実施している。相談の窓口としてハラスメント相談員を置き、Webサイトへの情報掲載や学生生活案内の配布など通して、学生周知に努めている。

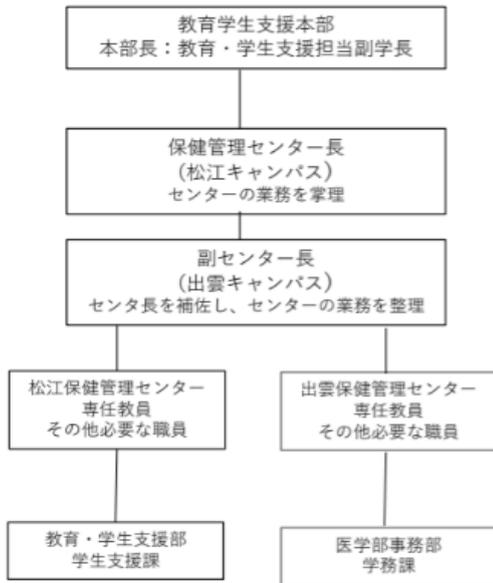
2-4. 今後の取組

多様で複雑な相談内容が増加している中で、各部局の教職員と医師・カウンセラー・障がい学生支援担当教員等の専門職の連携をとるために、学務情報システムの特記事項（学生カルテ）への記入を徹底する他、教職員ハンドブック及び指導マニュアルの積極的な活用やeラーニングによる研修などを実施する。

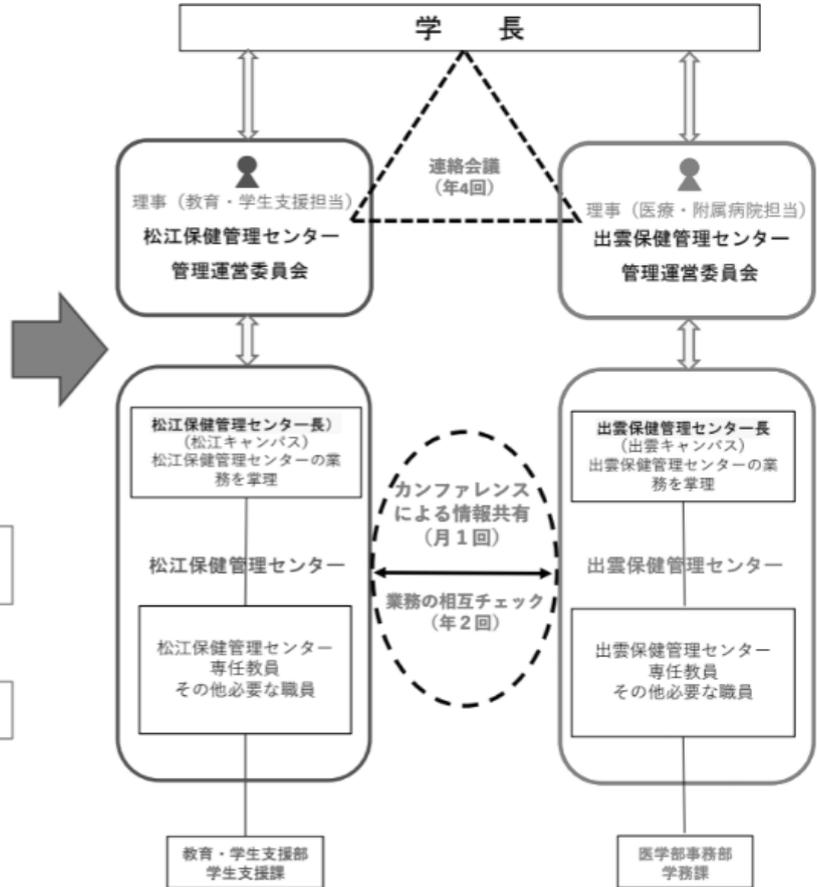
II：保健管理体制

1. 組織

(平成29年度～令和4年11月)



(令和4年12月～令和5年3月)



2. 構成

(令和6年4月～令和7年3月)

| | | |
|---------|--------|--------------|
| 松江センター長 | 河野 美江 | 産婦人科医師・臨床心理士 |
| 教授 | 河野 美江 | 産婦人科医師・臨床心理士 |
| 准教授 | 杉原 志伸 | 循環器内科医・産業医 |
| 特任講師 | 猪口 かおり | 臨床心理士・公認心理師 |
| 嘱託講師 | 執行 三佳 | 臨床心理士・公認心理師 |
| 嘱託講師 | 小林 亮輔 | 臨床心理士・公認心理師 |
| 嘱託講師 | 高橋 朋子 | 臨床心理士・公認心理師 |
| 保健師 | 長廻 久美子 | |
| 保健師 | 小林 沙世 | |
| 事務担当 | 飯野 修二 | 学生支援課課長 |

| | | |
|---------|--------|--------------|
| 出雲センター長 | 田邊 一明 | (兼任医学部教授) 教授 |
| 教授 | 和氣 玲 | 精神科医師・産業医 |
| 保健師 | 永見 茉里 | |
| 保健師 | 佐藤 志保 | (令和6年9月～) |
| 保健師 | 今岡 絵美子 | |
| 嘱託講師 | 和田 葉子 | 臨床心理士・公認心理師 |
| 嘱託講師 | 大野 晋平 | 臨床心理士・公認心理師 |
| 嘱託講師 | 原 美貴 | 臨床心理士・公認心理師 |
| 事務担当 | 品川 祐治 | 医学部学務課課長 |

3. 管理運営員委員会委員

松江保健管理センター (令和6年4月～令和7年3月)

| | |
|-----------------|-------|
| 理事 (教育担当) | 松崎 貴 |
| 生物資源科学部教授 | 山口 啓子 |
| 法文学部教授 | 飯野 公央 |
| 総合理工学部教授 | 廣富 哲也 |
| 松江保健管理センター長(教授) | 河野 美江 |
| 松江保健管理センター准教授 | 杉原 志伸 |
| 教育・学生支援部長 | 廣兼 敦 |

出雲保健管理センター (令和6年4月～令和7年3月)

| | |
|------------------|-------|
| 理事 (医療・附属病院担当) | 椎名 浩昭 |
| 医学部長(教授) | 石原 俊治 |
| 医学科長(教授) | 楳 靖 |
| 看護学科長(教授) | 津本 優子 |
| 出雲保健管理センター長 (教授) | 田邊 一明 |
| 出雲保健管理センター教授 | 和氣 玲 |
| 医学部事務部長 | 浦田 明宏 |

4. 松江保健管理センター規程

(令和4年島大規則第188号)

(令和4年11月22日制定)

[令和7年3月4日最終改正]

(趣旨)

第1条 この規程は、島根大学松江保健管理センター（以下「松江保健管理センター」という。）の組織及び運営等に関し、必要な事項を定める。

(設置)

第2条 島根大学（以下「本学」という。）に、松江保健管理センターを置く。

(目的)

第3条 松江保健管理センターは、本学松江地区における保健管理に関する専門的業務を一体的に行い、学生及び職員の健康の保持増進を図るとともに、出雲保健管理センターと協同して本学の保健管理の充実を図ることを目的とする。

(業務)

第4条 松江保健管理センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 保健管理計画の企画及び立案
- 二 定期及び臨時の健康診断
- 三 健康診断の事後措置等健康の保持増進について必要な指導
- 四 健康相談及び精神保健に関する指導・助言
- 五 学生相談への対応及び学生相談に係る学内外との連携
- 六 環境衛生及び感染症の予防に関する指導・助言
- 七 保健管理に関する調査研究
- 八 その他保健管理について必要な専門的業務

(職員)

第5条 松江保健管理センターに、次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 松江保健管理センター長
- 二 松江保健管理センターを担当する専任教員
- 三 その他必要な職員

(松江保健管理センター長)

第6条 松江保健管理センター長は、本学専任教授の中から、第8条第1項第1号に規定する理事の推薦を受けて、学長が選考し任命する。

2 松江保健管理センター長の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 松江保健管理センター長は、松江保健管理センターの業務を掌理する。

(松江管理運営委員会)

第7条 松江保健管理センターに、島根大学松江保健管理センター管理運営委員会（以下「松江管理運営委員会」という。）を置く。

2 松江管理運営委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 保健管理の基本方針
- 二 組織運営に関する基本方針
- 三 松江保健管理センターを担当する専任教員の配置計画に関する事項

四 予算及び概算に関する事項

五 事業計画の策定及び実施

六 その他松江保健管理センターの管理運営に関する必要な事項

(松江管理運営委員会の組織)

第8条 松江管理運営委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

一 学長が指名する理事

二 前号の理事が指名する教員 若干名

三 松江保健管理センター長

四 松江保健管理センターを担当する専任教員

五 教育・学生支援部長

2 第1項第2号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 松江管理運営委員会に委員長を置き、委員長は、学長が指名する理事をもって充てる。

(松江管理運営委員会の会議)

第9条 松江管理運営委員会は、委員長が招集し、議長は、委員長をもって充てる。

2 委員長に事故があるときは、委員長の指名する委員がその職務を代理する。

3 松江管理運営委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

4 松江管理運営委員会は、出席委員の過半数をもって議決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 松江管理運営委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(専門委員会等)

第10条 専門の事項を検討するため必要があるときは、松江管理運営委員会に、専門委員会等を置くことができる。

2 専門委員会等に関し必要な事項は、松江管理運営委員会において定める。

(連絡会議)

第11条 学長は、保健管理センターに関して、松江保健管理センターと出雲保健管理センターにおける連絡調整を行う必要があるときは、各管理運営委員会の代表者による保健管理センター連絡会議を開催するものとする。

2 保健管理センター連絡会議については、別に定める。

(事務)

第12条 松江保健管理センター、松江管理運営委員会及び保健管理センター連絡会議の事務は、教育・学生支援部学生支援課において処理する。

附 則

1 この規程は、令和4年11月22日から施行する。

2 この規程の施行前に廃止前の教育・学生支援本部保健管理センター規程第6条第1項に基づきセンター長として選考された者は、この規程の施行後最初に任命される松江保健管理センター長として、この規程第6条第1項により選考された者とみなす。

3 前項により、この規程の施行後最初に任命される松江保健管理センター長の任期は、第6条第2項の規定に関わらず、令和5年3月31日までとする。

4 この規程の施行後最初に任命される第9条第1項第2号の委員の任期は、第9条第2項の規定に関わらず、令和6年3月31日までとする。

5 教育・学生支援本部保健管理センター規程（平成25年島大規則第22号）は、廃止する。

附 則

この規程は、令和7年3月4日から施行する。

5. 出雲保健管理センター規程

(令和4年島大規則第189号)

(令和4年11月22日制定)

(令和7年3月4日最終改正)

(趣旨)

第1条 この規程は、島根大学出雲保健管理センター（以下「出雲保健管理センター」という。）の組織及び運営等に関し、必要な事項を定める。

(設置)

第2条 島根大学（以下「本学」という。）に、出雲保健管理センターを置く。

(目的)

第3条 出雲保健管理センターは、本学出雲地区における保健管理に関する専門的業務を一体的に行い、学生及び職員の健康の保持増進を図るとともに、松江保健管理センターと協同して本学の保健管理の充実を図ることを目的とする。

(業務)

第4条 出雲保健管理センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 保健管理計画の企画及び立案
- 二 定期及び臨時の健康診断
- 三 健康診断の事後措置等健康の保持増進について必要な指導
- 四 健康相談及び精神保健に関する指導・助言
- 五 学生相談への対応及び学生相談に係る学内外との連携
- 六 環境衛生及び感染症の予防に関する指導・助言
- 七 保健管理に関する調査研究
- 八 その他保健管理について必要な専門的業務

(職員)

第5条 出雲保健管理センターに、次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 出雲保健管理センター長
- 二 出雲保健管理センターを担当する専任教員
- 三 その他必要な職員

(出雲保健管理センター長)

第6条 出雲保健管理センター長は、本学専任教授の中から、第8条第1項第1号に規定する理事の推薦を受けて、学長が選考し任命する。

2 出雲保健管理センター長の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 出雲保健管理センター長は、出雲保健管理センターの業務を掌理する。

(出雲管理運営委員会)

第7条 出雲保健管理センターに、島根大学出雲保健管理センター管理運営委員会（以下「出雲管理運営委員会」という。）を置く。

2 出雲管理運営委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 保健管理の基本方針
- 二 組織運営に関する基本方針
- 三 出雲保健管理センターを担当する専任教員の配置計画に関する事項
- 四 予算及び概算に関する事項
- 五 事業計画の策定及び実施
- 六 その他出雲保健管理センターの管理運営に関する必要な事項

(出雲管理運営委員会の組織)

第8条 出雲管理運営委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

一 学長が指名する理事

二 医学部長

三 医学部から選出された教員 若干名

四 出雲保健管理センター長

五 出雲保健管理センターを担当する専任教員

六 医学部事務部長

2 前項第3号の委員は、医学部長の申出に基づき学長が任命する。

3 第1項第3号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 出雲管理運営委員会に委員長を置き、委員長は、学長が指名する理事をもって充てる。

(出雲管理運営委員会の会議)

第9条 出雲管理運営委員会は、委員長が招集し、議長は、委員長をもって充てる。

2 委員長に事故があるときは、委員長の指名する委員がその職務を代理する。

3 出雲管理運営委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

4 出雲管理運営委員会は、出席委員の過半数をもって議決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 出雲管理運営委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(専門委員会等)

第10条 専門の事項を検討するため必要があるときは、出雲管理運営委員会に、専門委員会等を置くことができる。

2 専門委員会等に関し必要な事項は、出雲管理運営委員会において定める。

(連絡会議)

第11条 学長は、保健管理センターに関して、松江保健管理センターと出雲保健管理センターにおける連絡調整を行う必要があるときは、各管理運営委員会の代表者による保健管理センター連絡会議を開催するものとする。

2 保健管理センター連絡会議については、別に定める。

(事務)

第12条 出雲保健管理センター、出雲管理運営委員会及び保健管理センター連絡会議の事務は、医学部事務部学務課において処理する。

附 則

1 この規程は、令和4年11月22日から施行する。

2 この規程の施行前に廃止前の教育・学生支援本部保健管理センター規程第7条第1項に基づき出雲センター長として選考された者は、この規程の施行後最初に任命される出雲保健管理センター長として、この規程第6

条第1項により選考された者とみなす。

3 前項により、この規程の施行後最初に任命される出雲保健管理センター長の任期は、第6条第2項の規定に関わらず、令和6年3月31日までとする。

4 この規程の施行後最初に任命される第9条第1項第3号の委員の任期は、第9条第3項の規定に関わらず、令和6年3月31日までとする。

附 則

この規則は、令和7年3月4日から施行する。

6. 学生相談室規程

(平成16年島大規則第101号)

(平成16年4月1日制定)

[令和4年3月22日最終改正]

(設置)

第1条 島根大学松江キャンパスに、学生相談室（以下「相談室」という。）を置く。

(目的)

第2条 相談室は、学生の個人的諸問題について相談に応じ、必要な支援を行うとともに、円滑な相談業務を進めることを目的とする。

(業務)

第3条 相談室は、前条の目的を達成するため、各学部、各研究科、指導教員及び教育・学生支援機構保健管理センター等と連携し、次の業務を行う。

- 一 学生及びその関係者（以下「学生等」という。）の相談に応ずること。
- 二 学生相談に係る資料の収集に関すること。
- 三 相談室連絡会議に関すること。
- 四 その他相談室に関する必要な事項。

2 相談室の運営は、学生の厚生補導に関する規則（以下「厚生補導規則」という。）第4条第1項に定める島根大学学生支援委員会（以下「学生支援委員会」という。）において行う。

(組織)

第4条 前条の業務を行うため、相談室に次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 室長
- 二 相談員
- 三 室員

(室長)

第5条 前条第1号の室長は、保健管理センター長をもって充てる。

2 室長は相談室の業務を総括し、必要に応じて相談室連絡会議を開催する。

3 室長は必要に応じて、相談室の業務内容等に関して学生支援委員会へ報告等を行う。

(相談員)

第6条 第4条第2号に定める相談員は、次の各号に掲げるものをもって充てる。

- 一 保健管理センター教員及びカウンセラー
- 二 その他学生支援委員会が必要と認めた者 若干名

2 前項第2号の相談員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の相談員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 第6条第1項第2号の相談員は、学生支援委員会の推薦により学長が任命する。

4 相談員は、第2条の目的を達成するため、学生等と面談し、問題解決のための助言・支援を行う。

5 相談員は、室長が招集する相談室連絡会議に出席しなければならない。

(室員)

第7条 第4条第3号に定める室員は、次の各号に掲げるものをもって充てる。

- 一 各学部（医学部を除く）人間社会科学研究科及び自然科学研究科教員 各1名
- 二 その他学生委員長会議が必要と認める者 若干名

2 前項第1号に定める室員は、厚生補導規則第4条第2項に定める委員会（以下「部局等委員会」という。）委員のうちから、各学生委員長の推薦により学長が任命する。

3 第1項第2号に定める室員は、学生支援委員会の推薦により学長が任命する。

4 室員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の室員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 室員は、室長が招集する相談室連絡会議に出席しなければならない。

6 相談室における学生等の相談状況を部局に伝え、学生指導・支援の改善について部局に提言する。

7 室員は、所属する部局からの学生相談に対する要望等の集約を行う。

(相談室連絡会議)

第8条 相談業務を円滑に進めるための情報共有及び今後の対応等を審議するため相談室連絡会議を行う。

2 相談室連絡会議の構成員は第4条に定める職員とする。

3 相談室連絡会議は、室長が必要に応じて招集する。

(責務)

第9条 相談室の職員は、学生個人の秘密を厳守しなければならない。

(事務)

第10条 相談室の事務は、教育・学生支援部学生支援課において処理する。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成30年8月1日から施行する。

2 この規則施行後最初に任命される第6条第1項第2号相談員については、同条第2項の規定に関わらず、平成31年3月31日までとする。

3 この規則施行後最初に任命される第7条第1項各号の室員については、同条第4項の規定に関わらず、平成31年3月31日までとする。

附 則（令和2年12月28日一部改正）

この規則は、令和3年1月1日から施行する。

附 則（令和3年3月29日一部改正）

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則（令和4年3月22日一部改正）

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

7. 医学部学生相談室規程

(平成16年4月1日制定)

(平成16年島大医学部規則第44号)

(設置)

第1条 島根大学医学部（以下「本学部」という。）に、島根大学医学部学生相談室（以下「相談室」という。）を置く。

(目的)

第2条 相談室は、学生の個人的諸問題について相談に応じ、必要な支援を行うことを目的とする。

(業務)

第3条 相談室は、前条の目的を達成するため、指導教員及び島根大学保健管理センター出雲（以下「センター出雲」という。）等と連携し、次の業務を行う。

- 一 学生の相談に応ずること。
- 二 学生相談に係る資料の収集に関すること。
- 三 その他相談室に関する必要な事項

(組織)

第4条 相談室に次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 室長
- 二 相談員 2名
- 三 その他医学部長が必要と認めた者

(室長)

第5条 室長は、センター出雲の教員のうちから医学部長が指名する。

2 室長は、相談室の業務を総括する。

(相談員)

第6条 相談員は、本学部の教授、准教授又は講師のうちから医学部長が任命する。

2 相談員は、相談者の問題解決のための助言及び相談対応者の調整等を行う。

(任期)

第7条 相談員の任期は2年とする。ただし、欠員が生じた場合の後任の者の任期は、前任者の残任期間とする。

(秘密の厳守)

第8条 相談室の職員、指導教員及びセンター出雲等の学生相談関係者は、学生個人の秘密を厳守しなければならない。

(事務)

第9条 相談室に関する事務は、学務課において処理する。

(細則)

第10条 この規程に定めるもののほか、相談室に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和元年5月8日から施行する。

附 則

この規則は、令和3年1月1日から施行する。

Ⅲ：沿 革

1. 旧島根医科大学保健管理センター沿革

| | | | |
|-------|-------|-----------------------|--------|
| 昭和50年 | 4月1日 | 島根医科大学開学 | |
| 昭和52年 | 4月1日 | 保健管理室業務開始 | |
| 平成3年 | 4月12日 | 保健管理センター開設（保健管理室を廃止） | |
| | | 初代所長 恒松徳五郎（内科学講座第三）教授 | 就任（併任） |
| 平成3年 | 7月1日 | 保健師 米原満子 着任 | |
| 平成4年 | 3月16日 | 講師 野原隆彦（第一外科より） | 着任 |
| 平成4年 | 4月1日 | 保健管理センター開所 | |
| 平成5年 | 4月1日 | 2代所長 加藤讓（内科学講座第一）教授 | 就任（併任） |
| 平成7年 | 4月1日 | 3代所長 福本四郎（内科学講座第二）教授 | 就任（併任） |
| | | 非常勤カウンセラー 和田（津森）葉子 | 着任 |
| 平成8年 | 9月16日 | 4代所長 小林祥泰（内科学講座第三）教授 | 就任（併任） |
| 平成10年 | 9月16日 | 5代所長 高島利一（内科学講座第四）教授 | 就任（併任） |
| 平成12年 | 9月16日 | 6代所長 木下芳一（内科学講座第二）教授 | 就任（併任） |
| 平成14年 | 9月16日 | 7代所長 加藤 讓（内科学講座第一）教授 | 就任（併任） |
| 平成15年 | 10月1日 | 旧島根大学と島根医科大学が統合 | |

2. 島根大学保健管理センター沿革

| | | | |
|-------|---|-----------|-------------|
| 昭和41年 | 開学以来設置されていた学生健康相談所に代わり、昭和41年6月国立学校設置法施行規則第29条の2の規定に基づき学生の健康管理に関する専門的業務を行う厚生施設として、全国で4大学（東大、京大、長崎大、島根大）に設置された。 | | |
| | 初代所長（併）福井一明助教授（教育学部） | | 就任 |
| | 井上照雄助教授（精神科） | | 着任 |
| | 看護師 | 徳永末子 | 着任 ～昭和53年3月 |
| | 非常勤講師 | 村江通之（衛生学） | |
| | 非常勤医師 | 石倉 幌（内科） | ～昭和60年3月 |
| | | 高橋富士郎（内科） | |
| | | 青戸陽一（歯科） | ～昭和55年3月 |
| | | 茂木五郎（耳鼻科） | |

| | | | |
|----------|------------------------|--|----------------------------------|
| 昭和42年4月 | 所長 非常勤医師 | 井上照雄助教授 西村 充 (耳鼻科) | 就任 ~昭和55年3月 |
| 昭和47年12月 | 本部管理棟へ移転 | | |
| 昭和51年4月 | 所長 (併) 助教授 非常勤医師 | 小滝信夫教授 (教育学部) 井上照雄 教授に昇任 中島隆司 (整形外科) | 就任 ~昭和52年3月 |
| 昭和52年4月 | 所長 (併) | 稲波正充教授 (教育学部) | 就任 ~昭和57年3月 |
| 昭和53年4月 | 看護師 臨床検査技師 | 三崎キクノ 柏 (永海) 紀子 | 着任 ~昭和58年3月 着任 ~平成28年3月 |
| 昭和55年 | 非常勤医師 | 青戸泰吉 (歯科) 永松力 (内科) | ~平成12年3月 |
| 昭和56年 | 非常勤カウンセラー 非常勤カウンセラー | 落合潮 大西俊江講師 (教育学部) | 着任 ~平成5年3月 着任 |
| 昭和58年4月 | 所長 講師 看護師 | 井上照雄教授 (精神科) 藤永佳代子 (小児科) 坪倉 (清水) 千歳 | 就任 ~平成5年3月 着任 ~昭和60年12月 着任 |
| 昭和60年4月 | 非常勤医師 | 池田博 (内科) | |
| 昭和61年1月 | 講師 | 谷本浩一 (消化器内科) | 着任 ~昭和61年12月 |
| 昭和61年2月 | 保健管理センター現在地に移転 | | |
| 昭和61年4月 | 講師 | 船井哲夫 (精神科) | 着任 |
| 平成4年4月 | 所長 講師 | 喜多村望教授 (教育学部) 船井哲夫 助教授に昇任 | 就任 ~平成7年3月 ~平成6年3月 |
| 平成5年4月 | 助教授 非常勤カウンセラー | 荒川長巳 (精神科) 斉藤渉 | 着任 ~平成30年3月 着任 ~平成6年3月 |
| 平成6年4月 | 助手 非常勤カウンセラー | 山本大介 (精神科) 和田 (津森) 葉子 | 着任 着任 ~平成9年3月 |
| 平成8年4月 | 所長 (併) | 猪野郁子教授 (教育学部) | 就任 |
| 平成9年4月 | 非常勤カウンセラー | 足立富美子 | 着任 ~平成17年3月 |
| 平成14年4月 | 非常勤カウンセラー | 早瀬真知子 | 着任 |
| 平成15年4月 | 助教授 | 荒川長巳 教授に昇任 | ~平成30年3月 |
| 平成15年9月 | 講師 | 山本大介 助教授に昇任 | ~平成19年4月 |
| 平成15年10月 | 旧島根大学・島根医科大学 統合 | | |
| | 所長(併) | 猪野郁子 教授 (教育学部) | 就任 ~平成17年3月 |
| | 副所長(併) | 小林祥泰 教授 (医学部) | 就任 ~平成16年3月 |
| | 教授 | 荒川長巳 (精神科) | |

| | | | | |
|----------|--------------------------|-----------------------------------|----|-------------------|
| | 助教授 | 山本大介 (精神科) | | |
| | 講師 | 野原隆彦 (外科) | | |
| | 看護師 | 坪倉千歳 | | ～平成21年3月 |
| | 保健師 | 米原満子 | | ～令和3年3月 |
| | 臨床検査技師 | 柏紀子 | | ～平成28年3月 |
| | 非常勤医師 | 池田博 (内科) | | ～平成17年3月 |
| | 非常勤カウンセラー | 大西俊江 名誉教授 | | ～平成17年3月 |
| | 非常勤カウンセラー | 足立富美子 | | ～平成17年3月 |
| | 非常勤カウンセラー | 和田葉子 | | |
| 平成16年4月 | 国立大学法人 島根大学となる | | | |
| 平成17年4月 | 所長(併) | 蘆田耕一 教授 (法文学部) | | ～平成23年3月 |
| | 副所長(併) | 杉本利嗣 教授 (医学部) | | ～平成21年3月 |
| | 特任講師 | 早瀬真知子 | 着任 | ～平成28年3月 |
| | 非常勤医師 | 坂之上一史 (内科医師) | | ～平成28年3月 |
| | 講師 | 野原隆彦 助教授に昇任 | | |
| 平成19年4月 | 助教授 | 野原隆彦 教授に昇任 | | |
| 平成20年1月 | 講師 | 河野美江 (産婦人科) | 着任 | |
| 平成21年4月 | 副所長(兼) | 野原隆彦 教授 就任 | | ～平成22年3月 |
| | 保健師 | 長廻久美子 | 着任 | |
| 平成21年5月 | 嘱託講師 (カウンセラー) | 小林亮輔 | 着任 | |
| 平成22年4月 | 教授 | 江副智子 (予防医学) | 着任 | |
| | 副所長 (兼) | 江副智子 教授就任 | | ～令和4年8月 |
| 平成22年4月 | 講師 | 河野美江 准教授に昇任 | | |
| 平成23年4月 | 所長 (兼) | 竹永三男 教授 (法文学部) | | ～平成26年9月 |
| 平成23年7月 | 嘱託講師 (カウンセラー) | 執行三佳 | 着任 | |
| 平成24年4月 | 保健管理センター出雲内に「学生相談室」移転 | | | |
| 平成25年4月 | 島根大学教育・学生支援機構保健管理センターとなる | | | |
| 平成26年10月 | センター長(兼) | 谷口隆雄教授(総合理工学研究科) | 就任 | ～平成27年3月 |
| 平成27年3月 | センター長(兼) | 尾崎浩一教授(生物資源科学部) | 就任 | ～平成31年3月 |
| 平成27年4月 | 嘱託講師(カウンセラー) | 和田葉子 保健管理センター出雲「学生相談室」カウンセラー兼任 | | |
| 平成28年4月 | 保健師 | 小林沙世 | 着任 | |
| | 特任講師 | 執行三佳 | 着任 | ～令和3年4月より 嘱託講師 |
| | 嘱託講師(カウンセラー) | 早瀬真知子 | 着任 | ～平成31年3月 |
| 平成30年4月 | 准教授 | 河野美江 教授に昇任 | | |
| | 准教授 | 杉原志伸 | 着任 | |

| | | | | |
|---------|--------------|---------------------|----|---------|
| 8月 | | 保健管理センター松江「学生相談室」開設 | | |
| 10月 | 保健師 | 米倉かおる | 着任 | ～令和2年2月 |
| 平成31年4月 | センター長(兼) | 河添達也教授(教育学部) | 就任 | ～令和4年3月 |
| | 嘱託講師(カウンセラー) | 高橋朋子 | 着任 | |
| 令和2年4月 | 保健師 | 井上和子 | 着任 | |
| 令和3年4月 | 特任講師(カウンセラー) | 猪口かおり | 着任 | |
| 令和4年4月 | センター長(兼) | 山口啓子教授(生物資源科学部) | 就任 | |
| 7月 | 出雲センター長(兼) | 田邊一明教授(医学部) | 就任 | |

3. 島根大学松江保健管理センター沿革

令和4年11月～

| | | | | |
|---------|--------------|-----------------|----|---------|
| 令和4年11月 | センター長(兼) | 山口啓子教授(生物資源科学部) | 就任 | ～令和5年3月 |
| | 教授 | 河野美江(産婦人科) | | |
| | 准教授 | 杉原志伸(内科) | | |
| | 特任講師(カウンセラー) | 猪口かおり | | |
| | 保健師 | 長廻久美子 | | |
| | 保健師 | 小林沙世 | | |
| | 嘱託講師(カウンセラー) | 執行三佳 | | |
| | 嘱託講師(カウンセラー) | 小林亮輔 | | |
| | 嘱託講師(カウンセラー) | 高橋朋子 | | ～令和7年6月 |
| 令和5年4月 | センター長 | 河野美江(産婦人科) | 就任 | |

4. 島根大学出雲保健管理センター沿革

令和4年11月～

| | | | | |
|---------|--------------|-------------|----|---------|
| 令和4年11月 | センター長(兼) | 田邊一明教授(医学部) | 就任 | ～令和5年3月 |
| | 保健師 | 井上和子 | | |
| | 嘱託講師(カウンセラー) | 和田葉子 | | |
| 令和5年1月 | 教授 | 和氣玲(精神科) | 着任 | |
| 4月 | 保健師 | 永見茉里 | 着任 | |
| 9月 | 保健師 | 今岡絵美子 | 着任 | |
| 10月 | 技術職員(カウンセラー) | 大野晋平 | 着任 | |
| 令和6年1月 | 技術職員(カウンセラー) | 原美貴 | 着任 | |
| 9月 | 保健師 | 佐藤志保 | 着任 | |

島根大学保健管理センター年報

[2024年度]

令和 7 年 11 月発行

松江保健管理センター

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

TEL 0852-32-6568

出雲保健管理センター

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

TEL 0852-20-2099